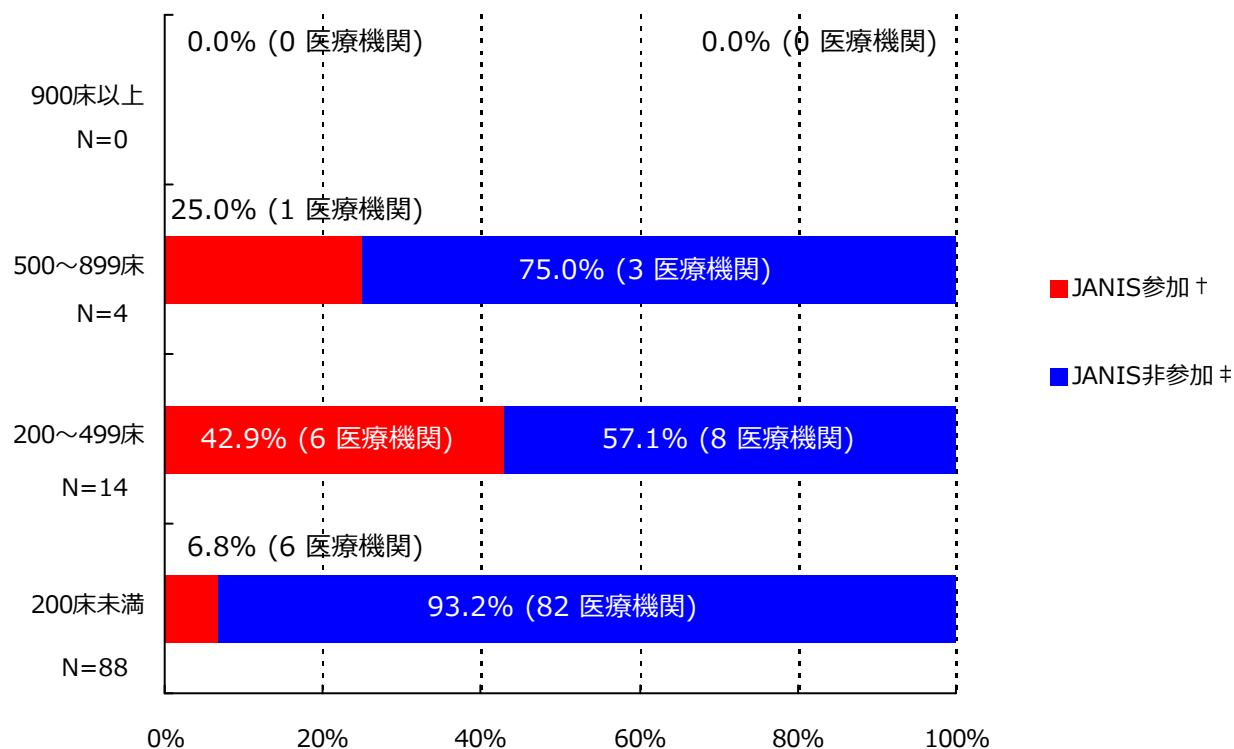


(富山県)
公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(13医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2023年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2022年 都道府県別医療機関数¶) - (2023年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2022年 都道府県別医療機関数¶	2023年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	4	1 (25%)
200～499床	14	6 (42.9%)
200床未満	88	6 (6.8%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	106	13 (12.3%)

¶2022年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	13	62,626	5	148	2.36%	0.00 1.90 10.99 -----
2022年	13	62,233	1	126	2.02%	0.83 1.64 9.01 -----
2023年	13	62,639	5	118	1.88%	0.25 1.88 8.77 -----

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	13	62,626	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.08 -----
2022年	13	62,233	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.08 -----
2023年	13	62,639	0	3	0.05%	0.00 0.00 0.23 -----

2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2022年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2023年	13	62,639	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.07

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	13	62,626	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.07
2022年	13	62,233	0	3	0.05%	0.00 0.00 0.14
2023年	13	62,639	0	10	0.16%	0.00 0.00 0.46

(富山県)

公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

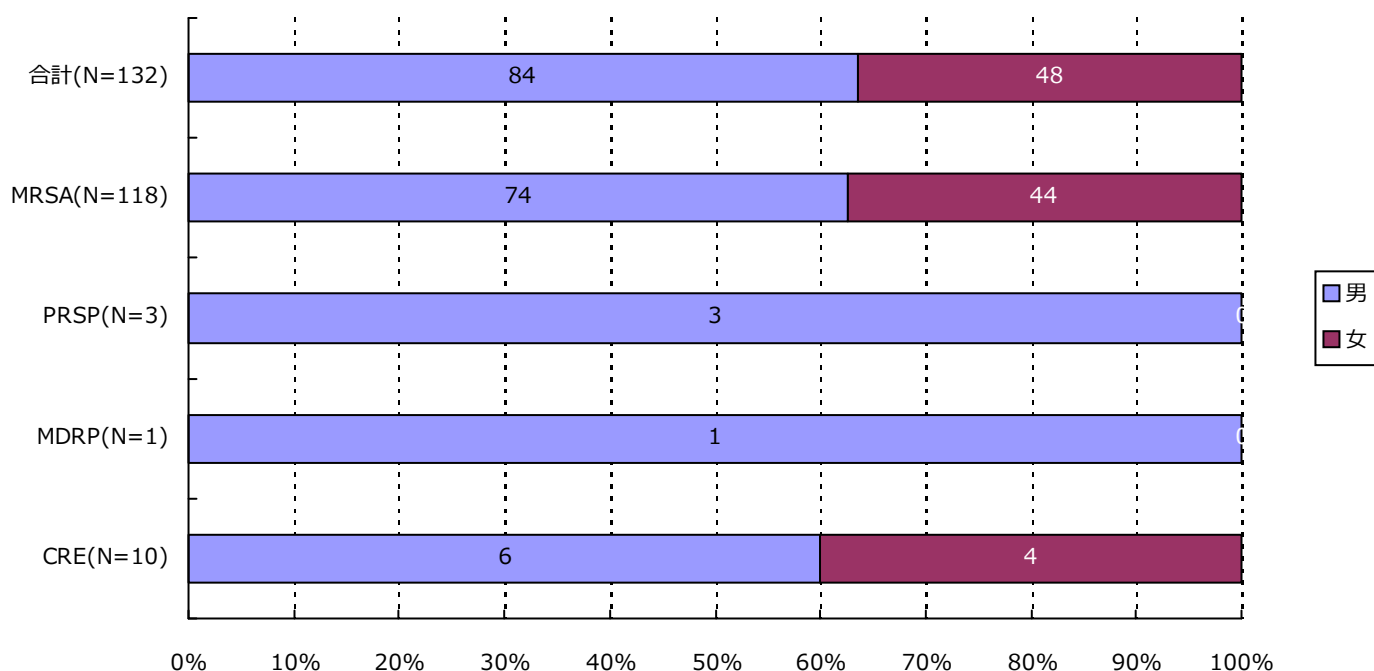
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

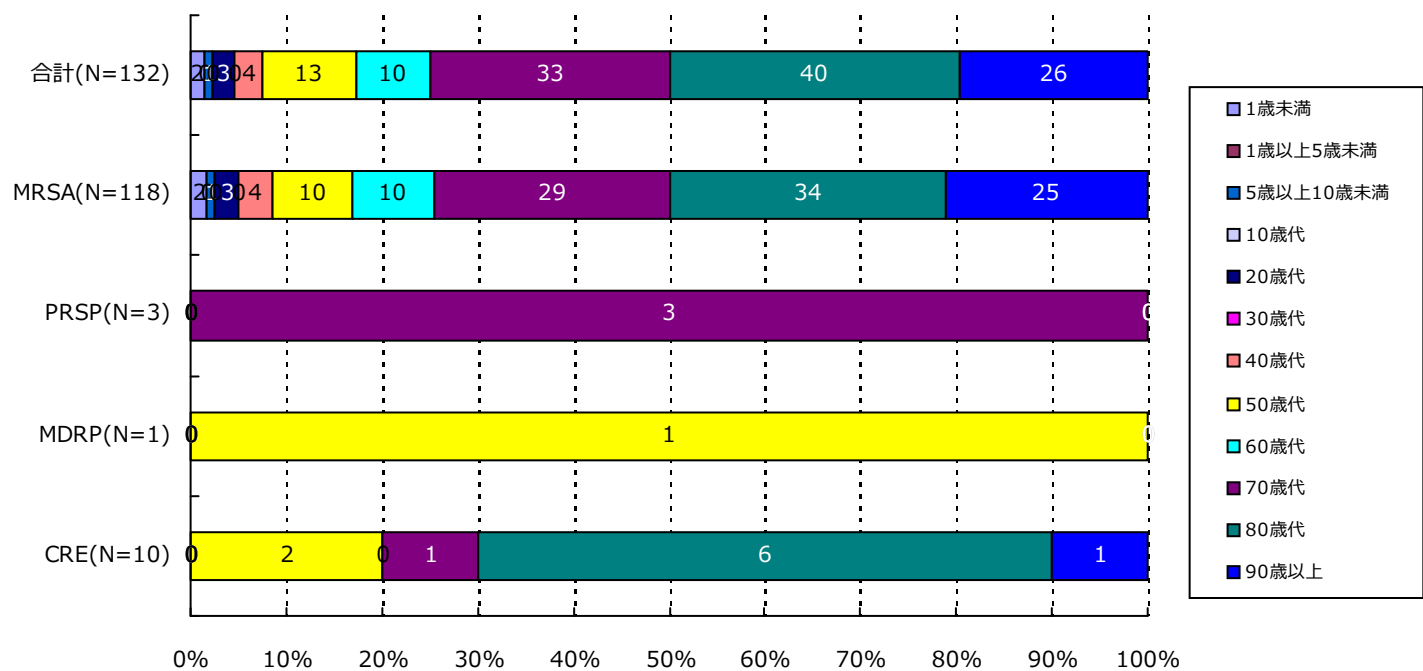
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	84 (63.6%)	74 (62.7%)	0 (-)	0 (-)	3 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (-)	6 (60.0%)
女	48 (36.4%)	44 (37.3%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	4 (40.0%)
合計	132	118	0	0	3	1	0	10

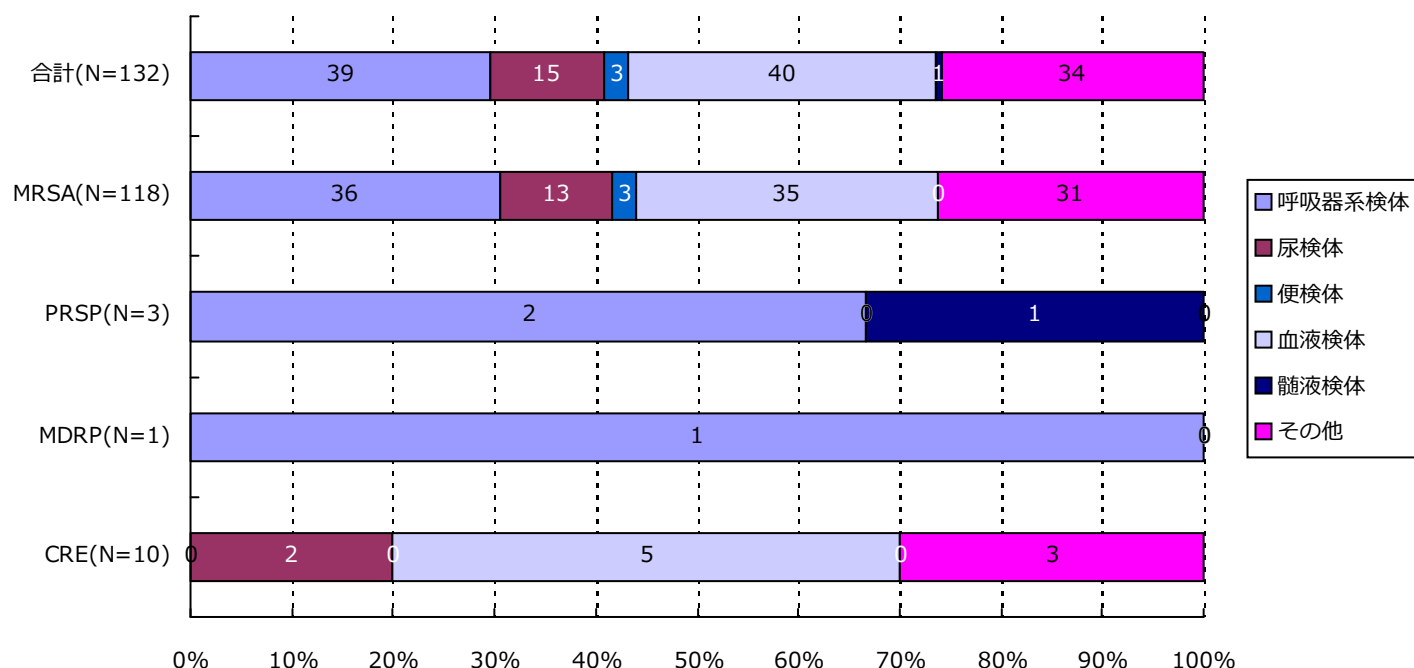


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	2(1.5%)	2(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.8%)	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	3(2.3%)	3(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	4(3.0%)	4(3.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	13(9.8%)	10(8.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	2(20.0%)
60歳代	10(7.6%)	10(8.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	33(25.0%)	29(24.6%)	0(-)	0(-)	3(100.0%)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
80歳代	40(30.3%)	34(28.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(60.0%)
90歳以上	26(19.7%)	25(21.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
合計	132	118	0	0	3	1	0	10

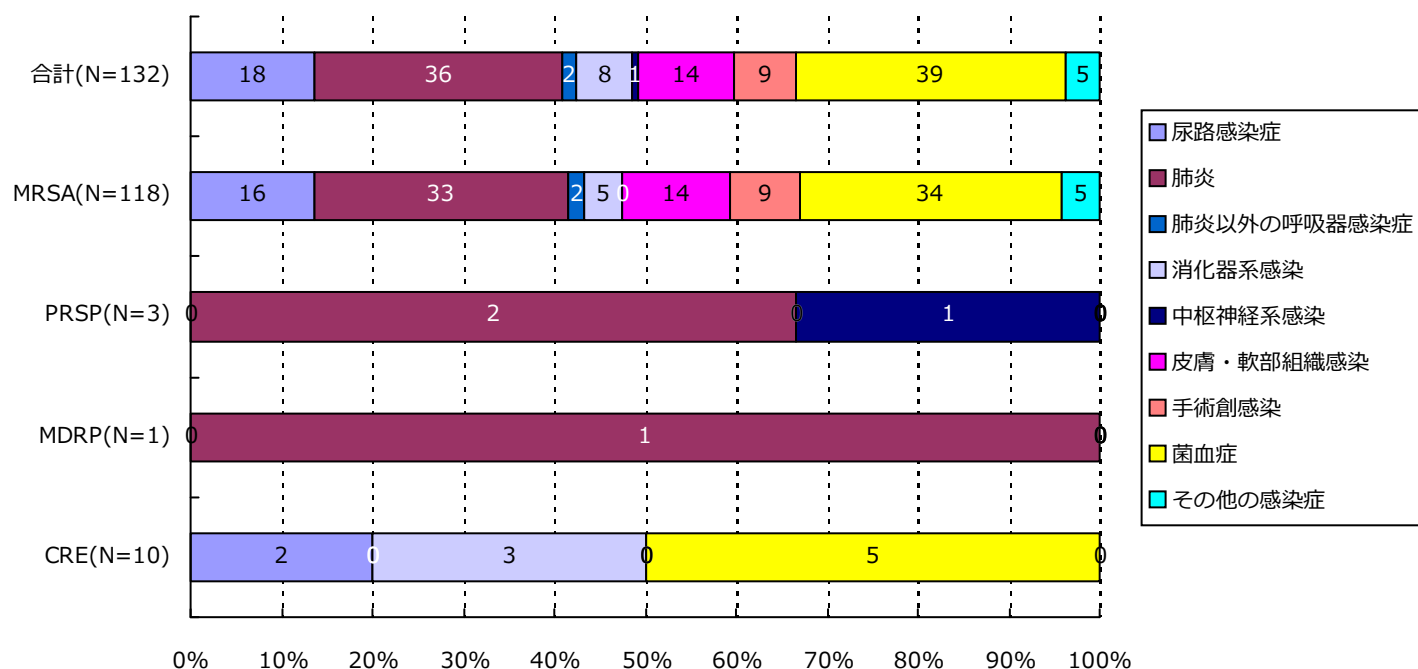
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	39(29.5%)	36(30.5%)	0(-)	0(-)	2(66.7%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
尿検体	15(11.4%)	13(11.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(20.0%)
便検体	3(2.3%)	3(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	40(30.3%)	35(29.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(50.0%)
髄液検体	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	34(25.8%)	31(26.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(30.0%)
合計	132	118	0	0	3	1	0	10

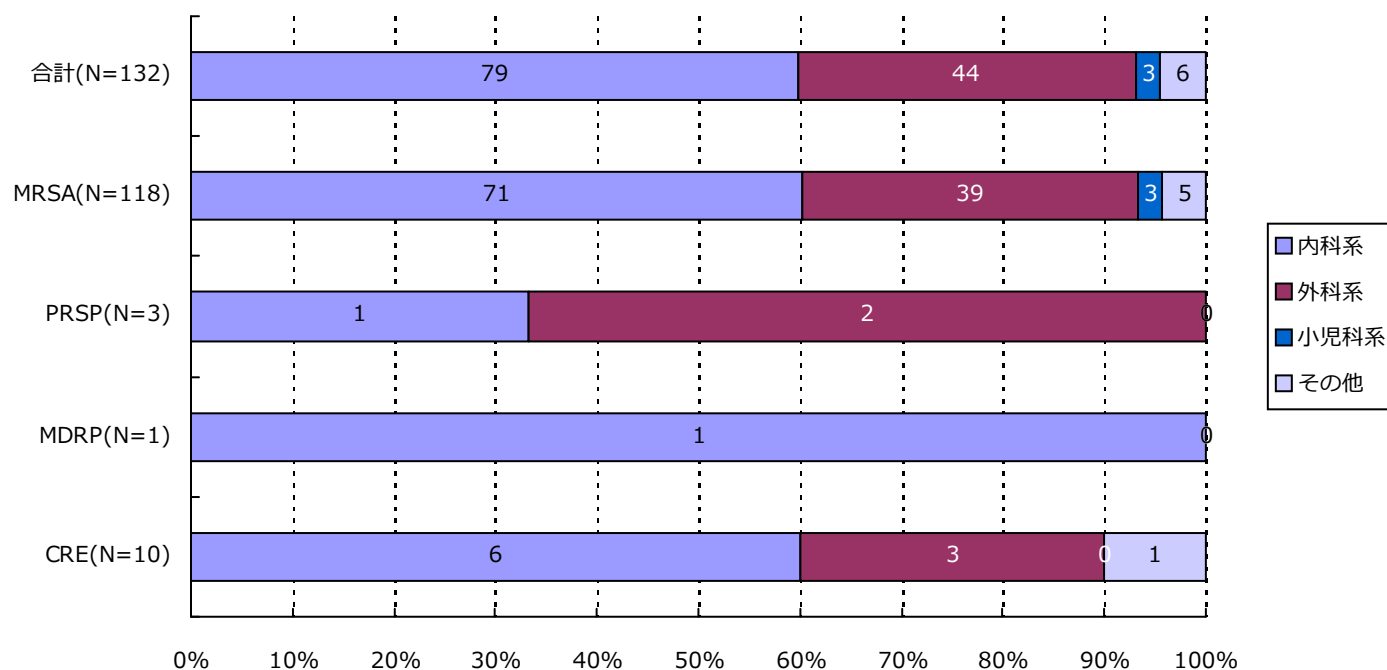
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	18(13.6%)	16(13.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(20.0%)
肺炎	36(27.3%)	33(28.0%)	0(-)	0(-)	2(66.7%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
肺炎以外	2(1.5%)	2(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	8(6.1%)	5(4.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(30.0%)
中枢神経系	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	14(10.6%)	14(11.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	9(6.8%)	9(7.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	39(29.5%)	34(28.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(50.0%)
その他	5(3.8%)	5(4.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	132	118	0	0	3	1	0	10

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	79(59.8%)	71(60.2%)	0(-)	0(-)	1(33.3%)	1(100.0%)	0(-)	6(60.0%)
外科系	44(33.3%)	39(33.1%)	0(-)	0(-)	2(66.7%)	0(-)	0(-)	3(30.0%)
小児科系	3(2.3%)	3(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	6(4.5%)	5(4.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
合計	132	118	0	0	3	1	0	10

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL†かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

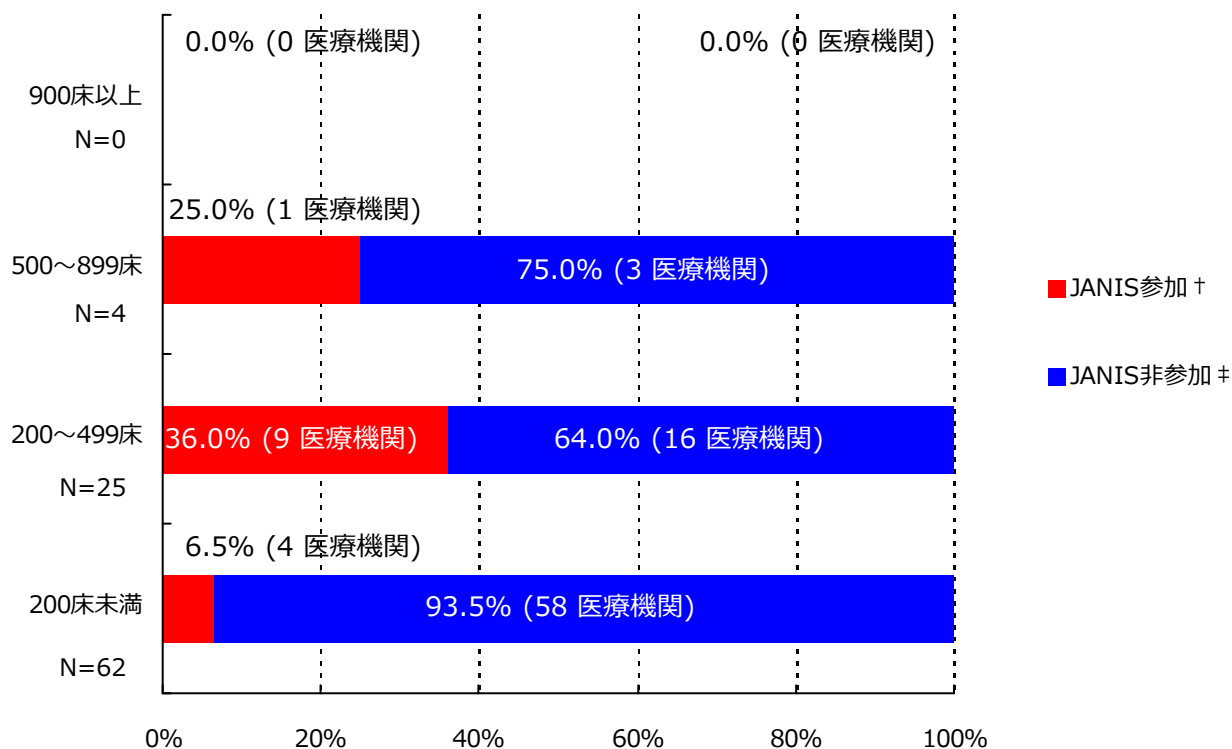
* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠

(石川県)
公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(14医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2023年1月～12月 集計対象医療機関数

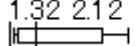
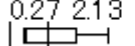
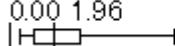
‡ JANIS非参加 = (2022年 都道府県別医療機関数¶) - (2023年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2022年 都道府県別医療機関数¶	2023年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	4	1 (25%)
200～499床	25	9 (36%)
200床未満	62	4 (6.5%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	91	14 (15.4%)

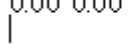
¶2022年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	13	54,108	1	185	3.42%	1.32 2.12 11.78 
2022年	13	53,424	1	171	3.20%	0.27 2.13 17.13 
2023年	14	54,330	4	168	3.09%	0.00 1.96 15.01 

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2022年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2023年	14	54,330	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.17 



2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	13	54,108	0	14	0.26%	0.00 0.00 1.68
2022年	13	53,424	0	22	0.41%	0.00 0.00 2.28
2023年	14	54,330	0	17	0.31%	0.00 0.00 4.13

(石川県)

公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

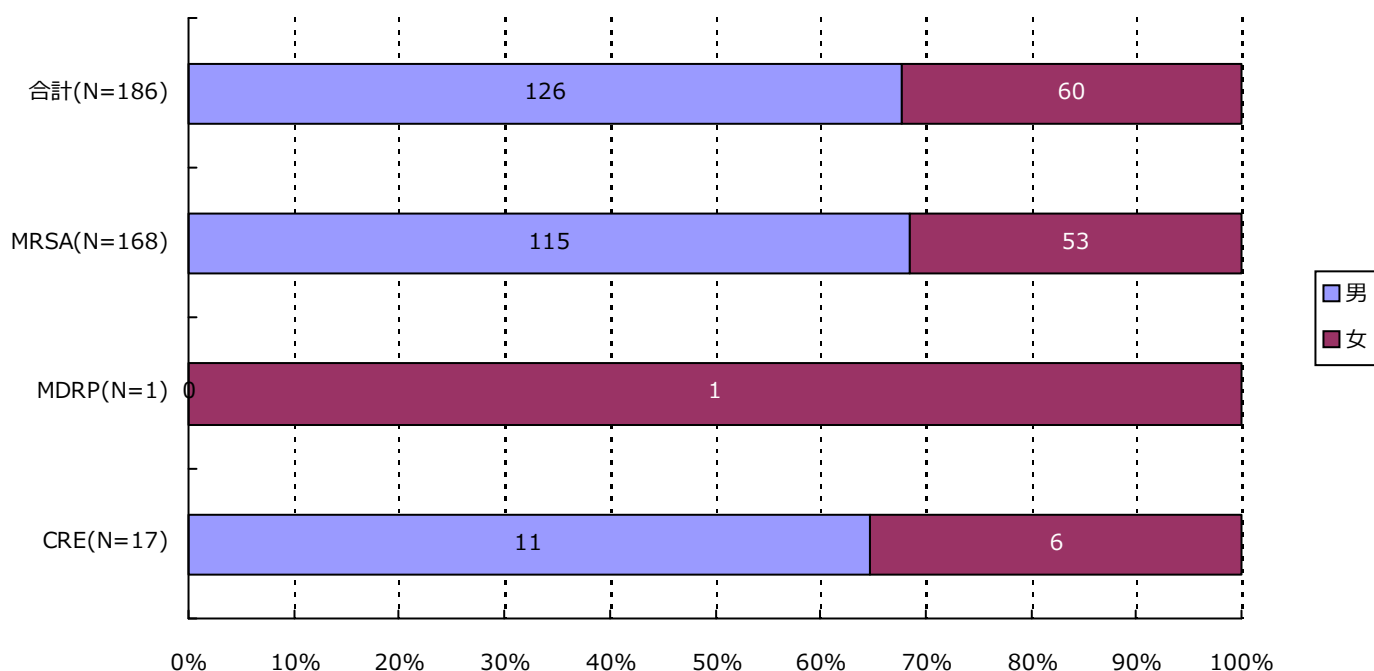
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

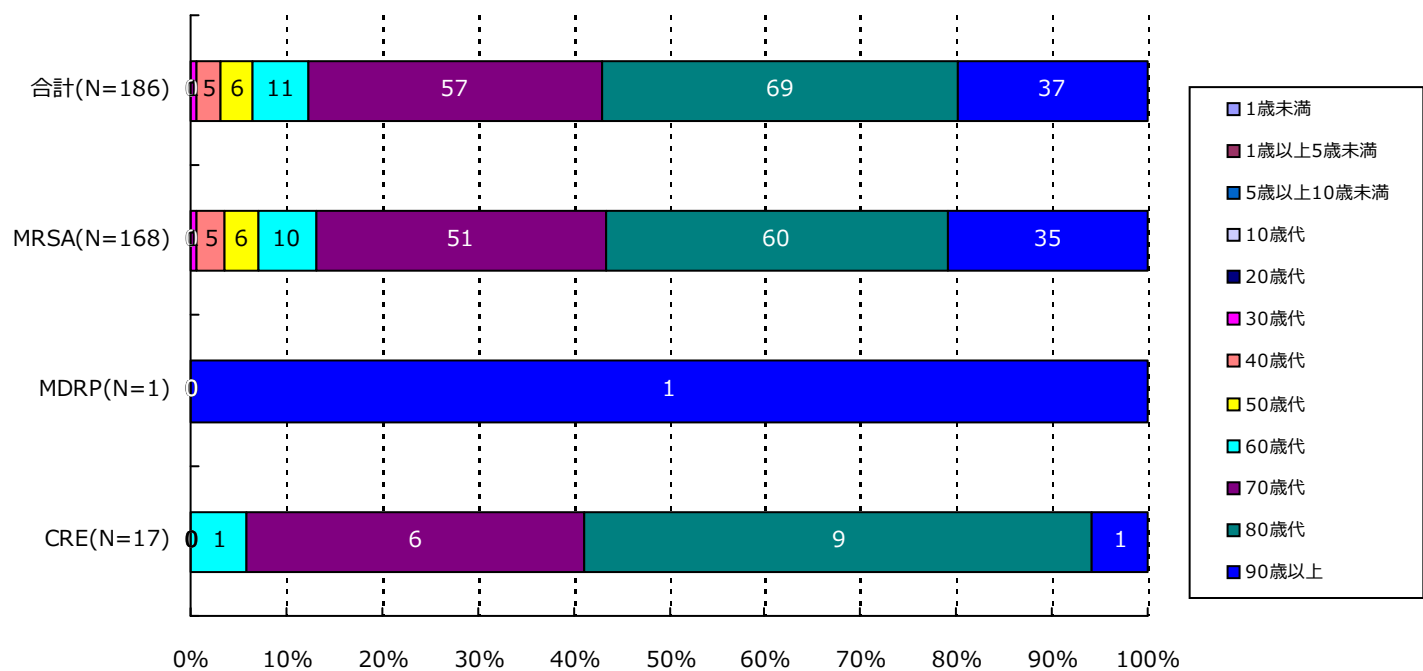
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	126 (67.7%)	115 (68.5%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	11 (64.7%)
女	60 (32.3%)	53 (31.5%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0%)	0 (-)	6 (35.3%)
合計	186	168	0	0	0	1	0	17

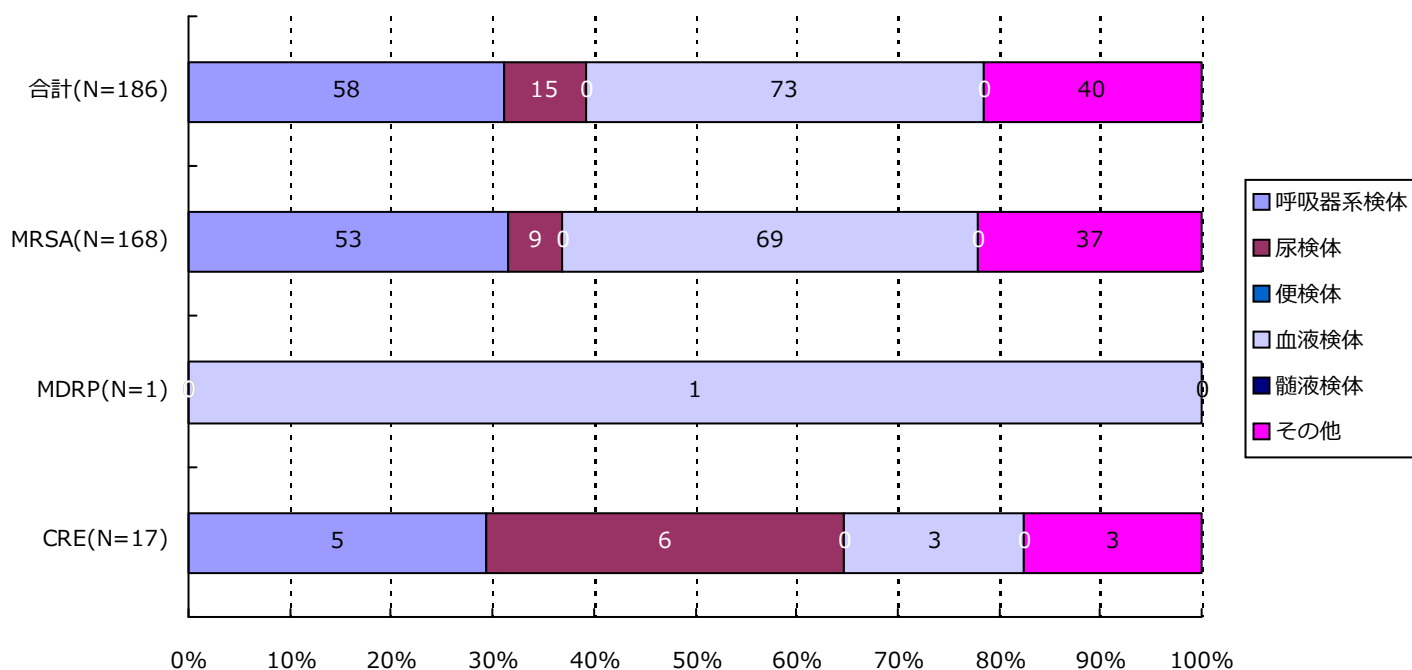


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	1(0.5%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	5(2.7%)	5(3.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	6(3.2%)	6(3.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	11(5.9%)	10(6.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(5.9%)
70歳代	57(30.6%)	51(30.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(35.3%)
80歳代	69(37.1%)	60(35.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	9(52.9%)
90歳以上	37(19.9%)	35(20.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(5.9%)
合計	186	168	0	0	0	1	0	17

5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳

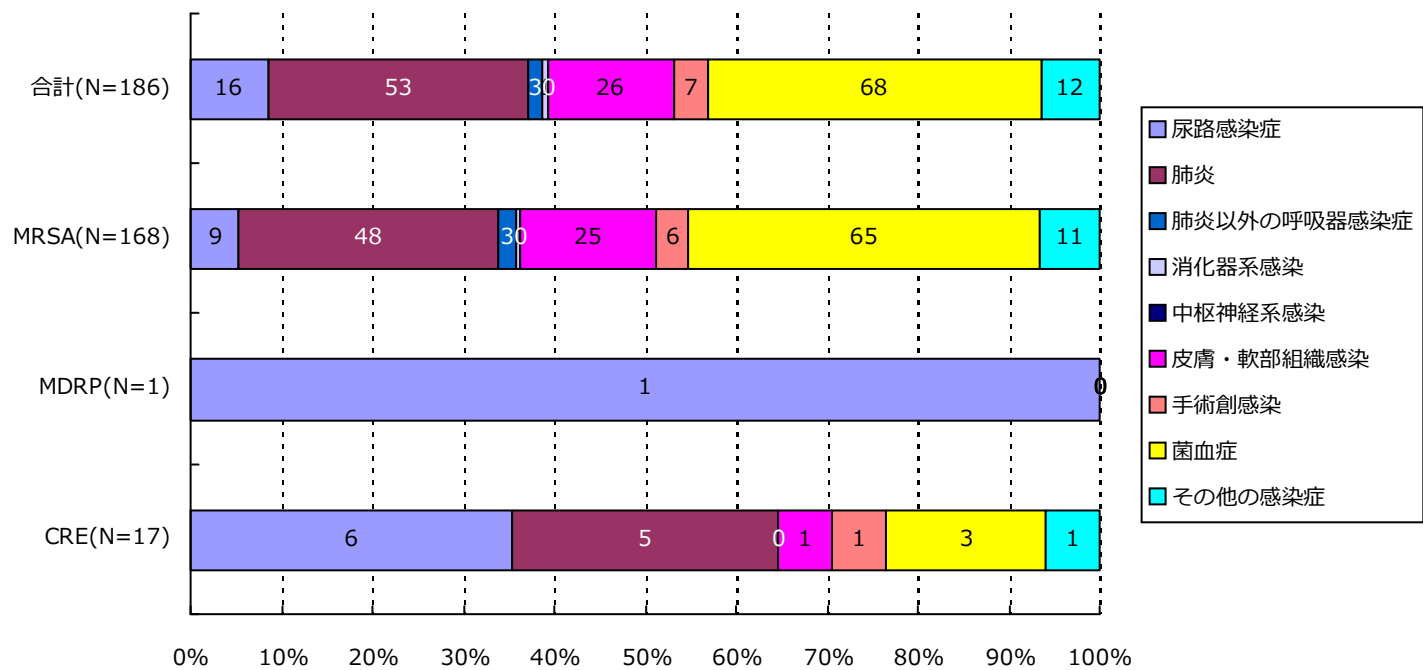


分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	58(31.2%)	53(31.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(29.4%)
尿検体	15(8.1%)	9(5.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	6(35.3%)
便検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	73(39.2%)	69(41.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	3(17.6%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	40(21.5%)	37(22.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(17.6%)
合計	186	168	0	0	0	1	0	17

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

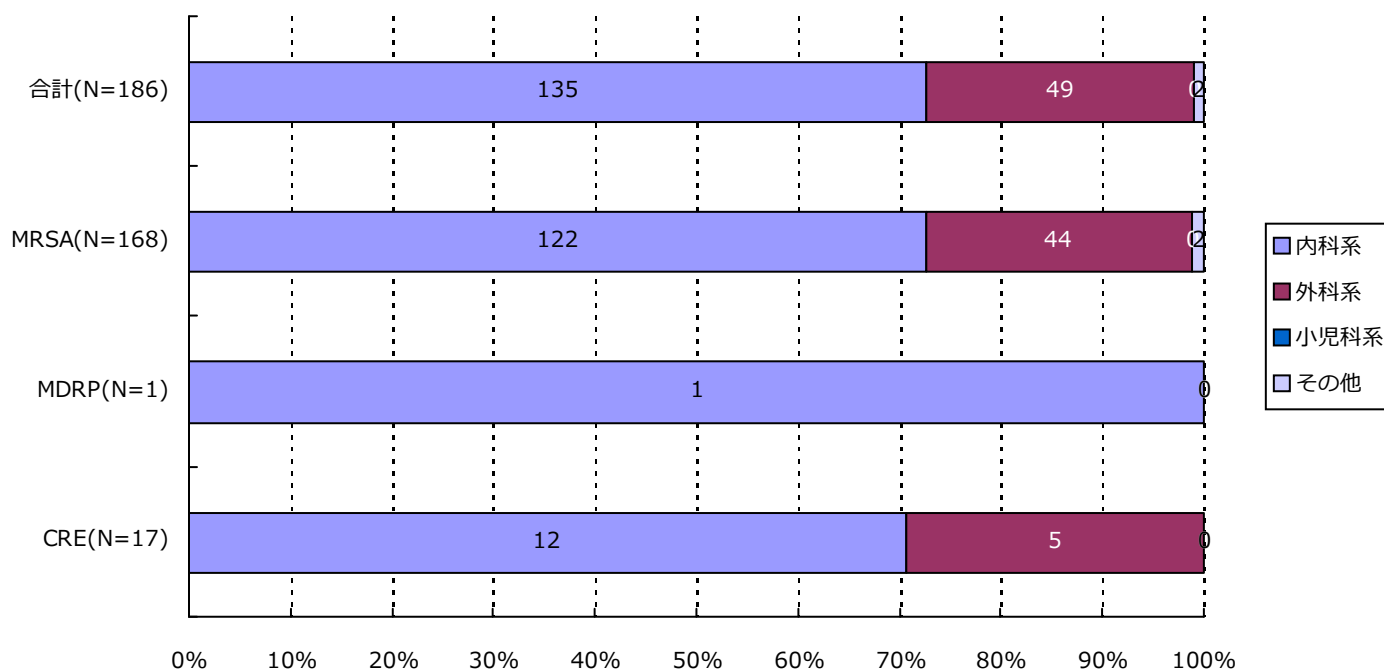


6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	16(8.6%)	9(5.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	6(35.3%)
肺炎	53(28.5%)	48(28.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(29.4%)
肺炎以外	3(1.6%)	3(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	1(0.5%)	1(0.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	26(14.0%)	25(14.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(5.9%)
手術創	7(3.8%)	6(3.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(5.9%)
菌血症	68(36.6%)	65(38.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(17.6%)
その他	12(6.5%)	11(6.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(5.9%)
合計	186	168	0	0	0	1	0	17

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	135(72.6%)	122(72.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	12(70.6%)
外科系	49(26.3%)	44(26.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(29.4%)
小児科系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	2(1.1%)	2(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	186	168	0	0	0	1	0	17

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆膵外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	その他		老人内科
心療内科		耳鼻咽喉科	
性病科		気管食道科	
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
リハビリテーション科		小児科	
麻酔科	新生児科		
その他	新生児集中治療部(NICU)		
	周産期センター		

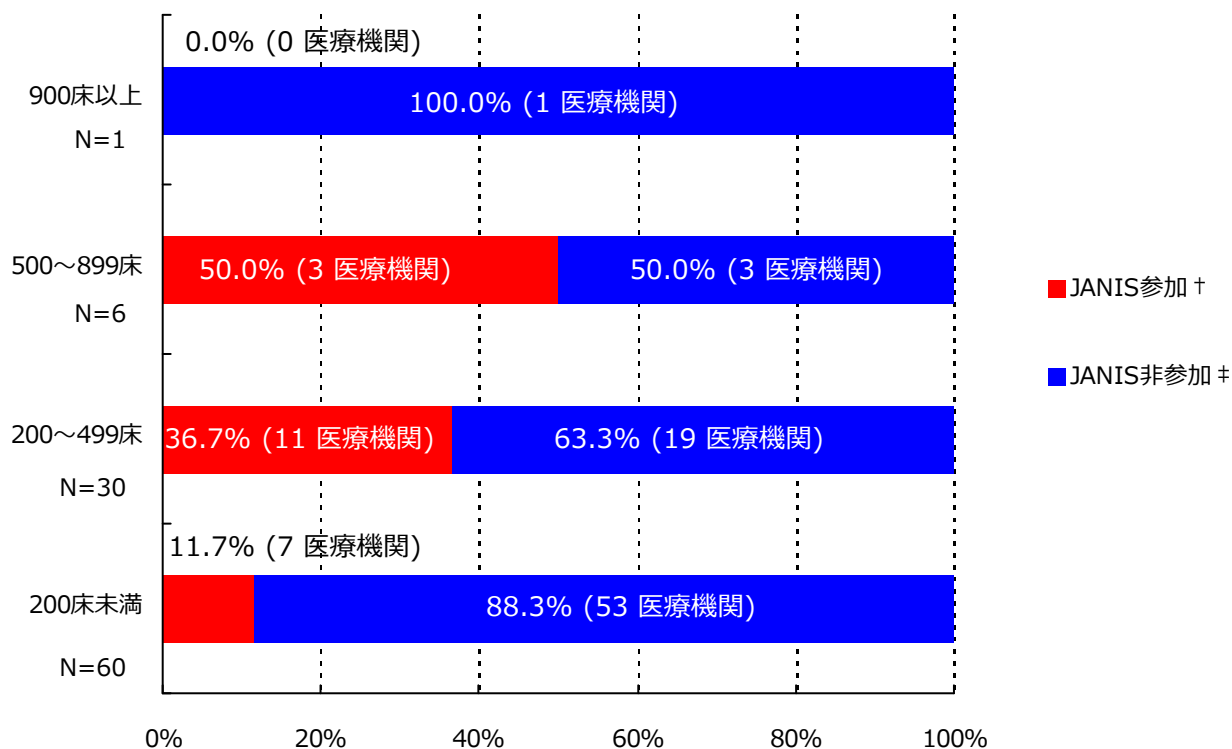
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm *
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL†かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(21医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2023年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2022年 都道府県別医療機関数¶) - (2023年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2022年 都道府県別医療機関数¶	2023年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	1	0 (0%)
500～899床	6	3 (50%)
200～499床	30	11 (36.7%)
200床未満	60	7 (11.7%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	97	21 (21.6%)

¶2022年医療施設（動態）調査を参照した。

(岐阜県)

公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	21	93,158	6	377	4.05%	0.00 3.50 18.78 H -----
2022年	21	95,231	9	367	3.85%	0.85 2.39 14.44 H -----
2023年	21	96,023	7	401	4.18%	0.00 2.83 19.69 H -----

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	21	93,158	0	12	0.13%	0.00 0.00 1.20 -----
2022年	21	95,231	0	4	0.04%	0.00 0.00 0.23 -----
2023年	21	96,023	0	2	0.02%	0.00 0.00 0.13 -----

(岐阜県)

公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	21	93,158	0	6	0.06%	0.00 0.00 0.22 -----
2022年	21	95,231	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.11 -----
2023年	21	96,023	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.11 -----

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	21	93,158	0	6	0.06%	0.00 0.00 0.34 -----
2022年	21	95,231	0	7	0.07%	0.00 0.00 0.30 -----
2023年	21	96,023	0	10	0.10%	0.00 0.00 0.43 -----

(岐阜県)

公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

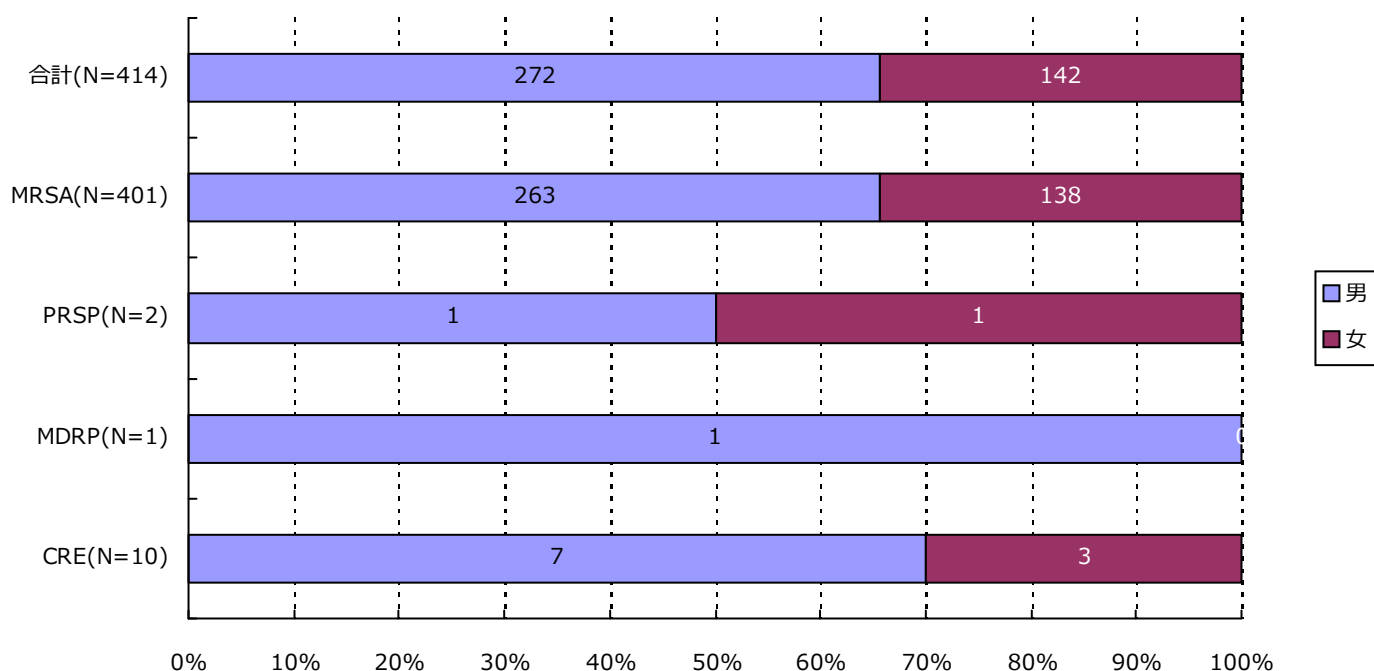
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

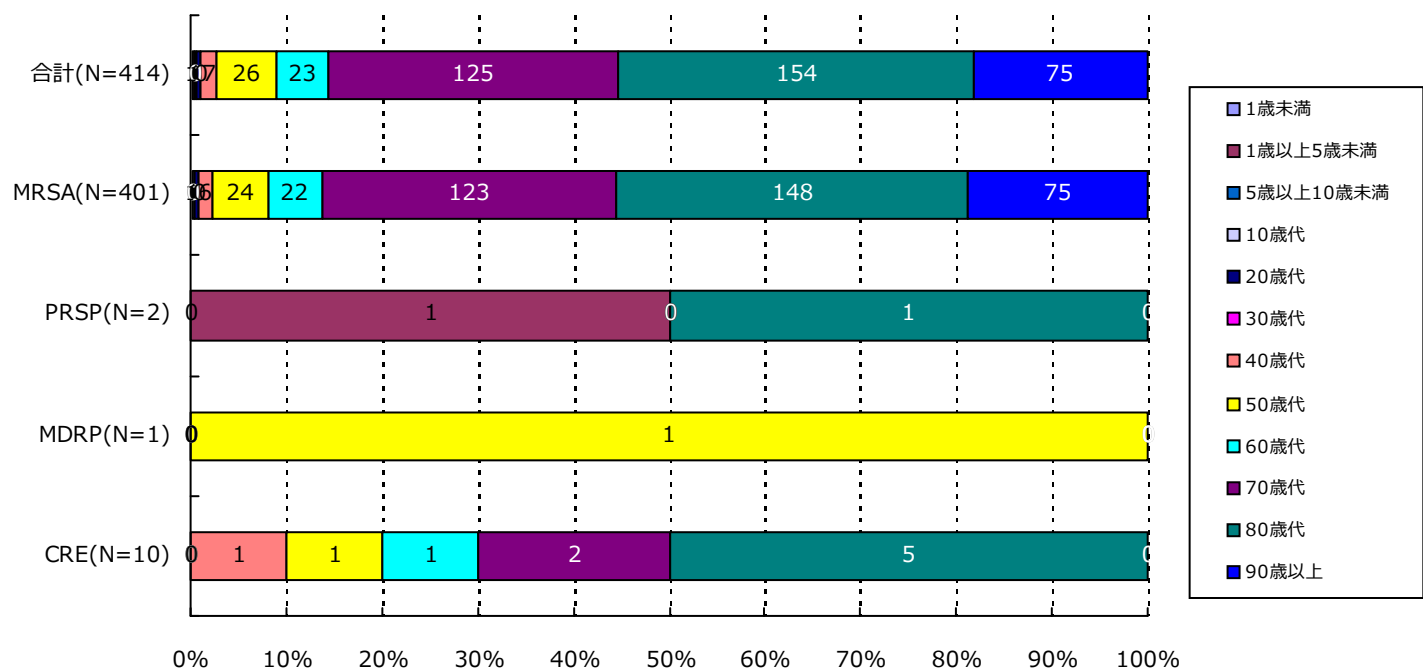
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	272(65.7%)	263(65.6%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	1(100.0%)	0(-)	7(70.0%)
女	142(34.3%)	138(34.4%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	3(30.0%)
合計	414	401	0	0	2	1	0	10

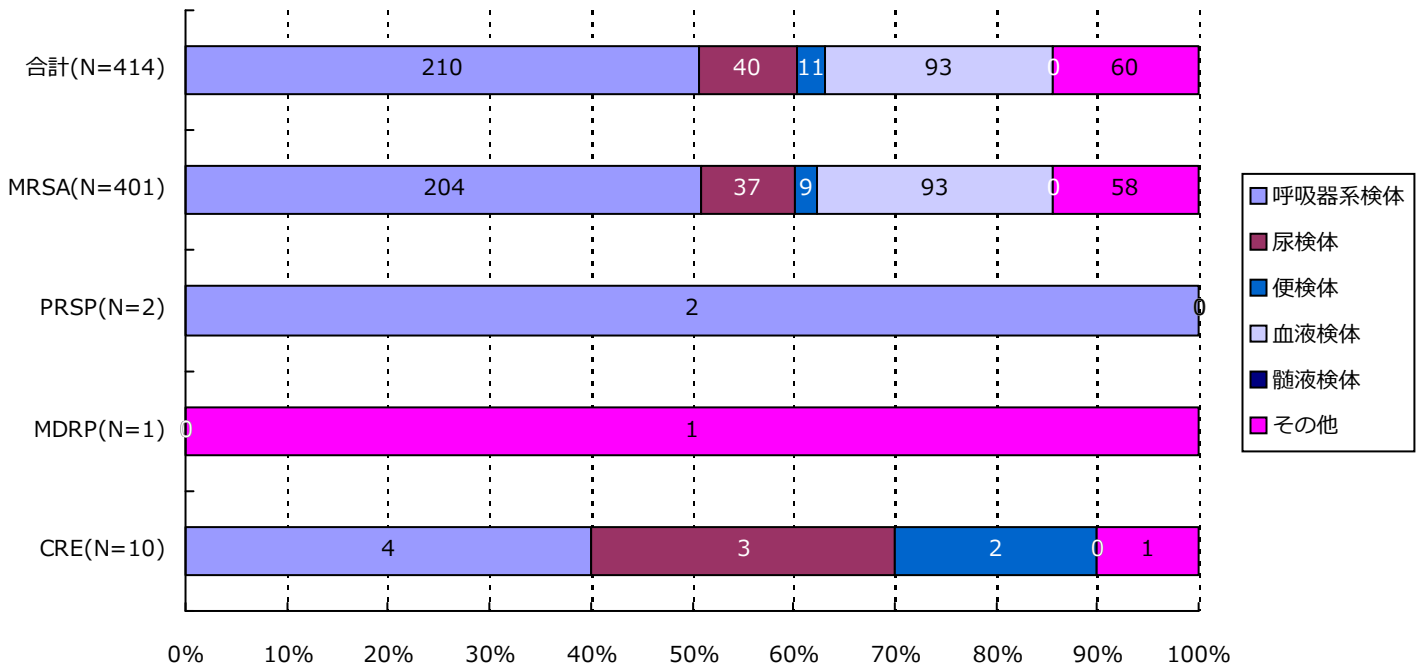


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	1(0.2%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.2%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	1(0.2%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	7(1.7%)	6(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
50歳代	26(6.3%)	24(6.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(10.0%)
60歳代	23(5.6%)	22(5.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
70歳代	125(30.2%)	123(30.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(20.0%)
80歳代	154(37.2%)	148(36.9%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	5(50.0%)
90歳以上	75(18.1%)	75(18.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	414	401	0	0	2	1	0	10

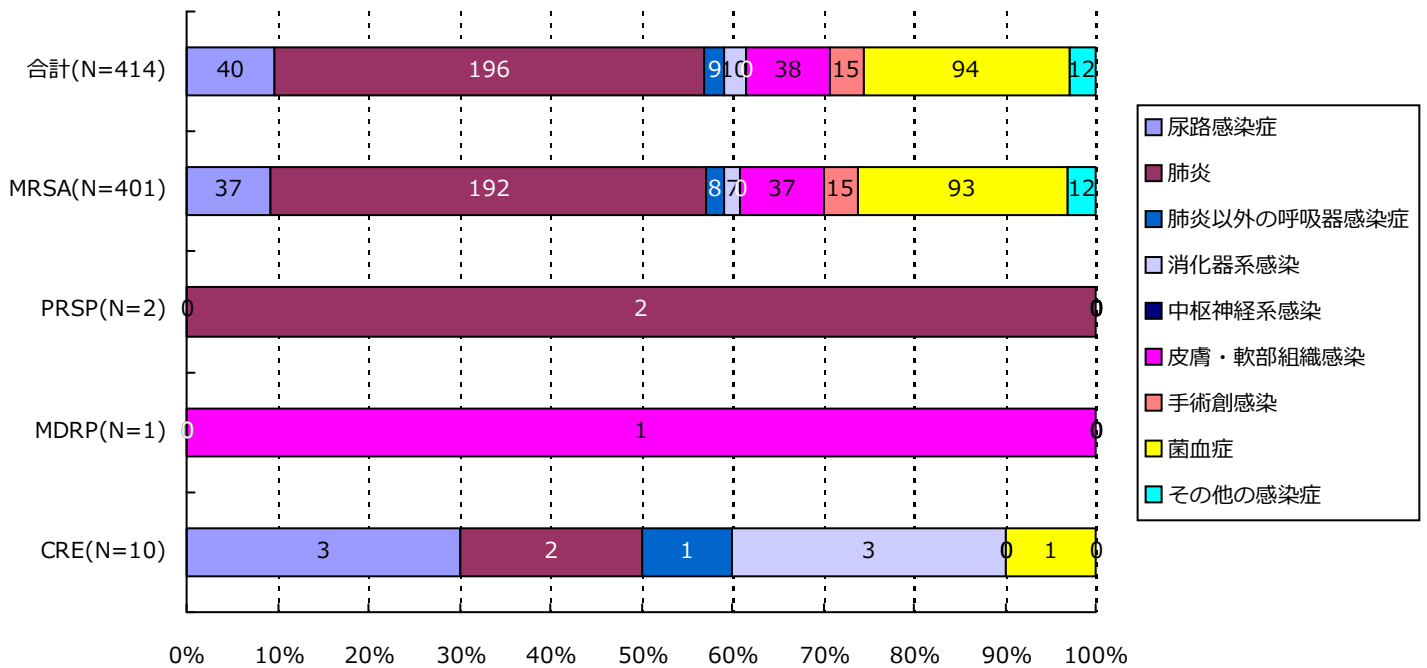
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	210(50.7%)	204(50.9%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	0(-)	0(-)	4(40.0%)
尿検体	40(9.7%)	37(9.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(30.0%)
便検体	11(2.7%)	9(2.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(20.0%)
血液検体	93(22.5%)	93(23.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	60(14.5%)	58(14.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	1(10.0%)
合計	414	401	0	0	2	1	0	10

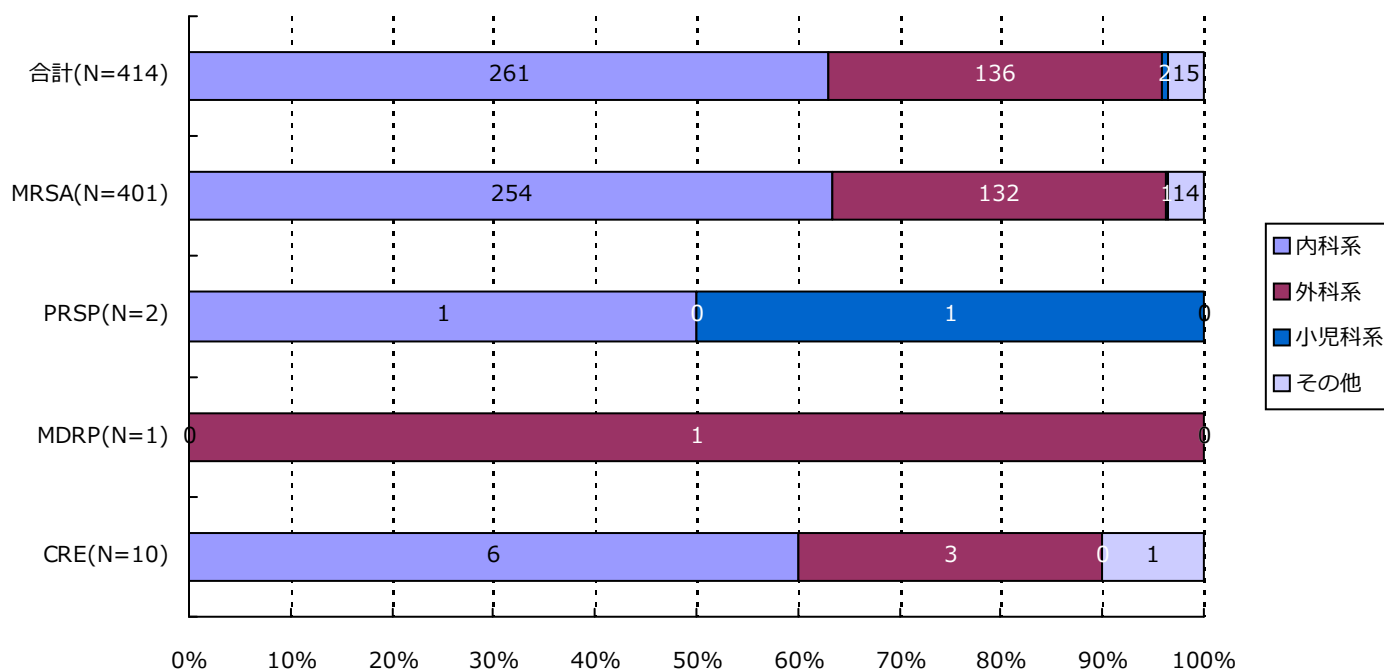
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	40(9.7%)	37(9.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(30.0%)
肺炎	196(47.3%)	192(47.9%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	0(-)	0(-)	2(20.0%)
肺炎以外	9(2.2%)	8(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
消化器系	10(2.4%)	7(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(30.0%)
中枢神経系	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	38(9.2%)	37(9.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
手術創	15(3.6%)	15(3.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	94(22.7%)	93(23.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
その他	12(2.9%)	12(3.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	414	401	0	0	2	1	0	10

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	261(63.0%)	254(63.3%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	6(60.0%)
外科系	136(32.9%)	132(32.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	3(30.0%)
小児科系	2(0.5%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	15(3.6%)	14(3.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(10.0%)
合計	414	401	0	0	2	1	0	10

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	老人内科		眼科
	心療内科		耳鼻咽喉科
	その他		性病科
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
リハビリテーション科		小児科	
麻酔科		新生児科	
その他		新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm *
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL†かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

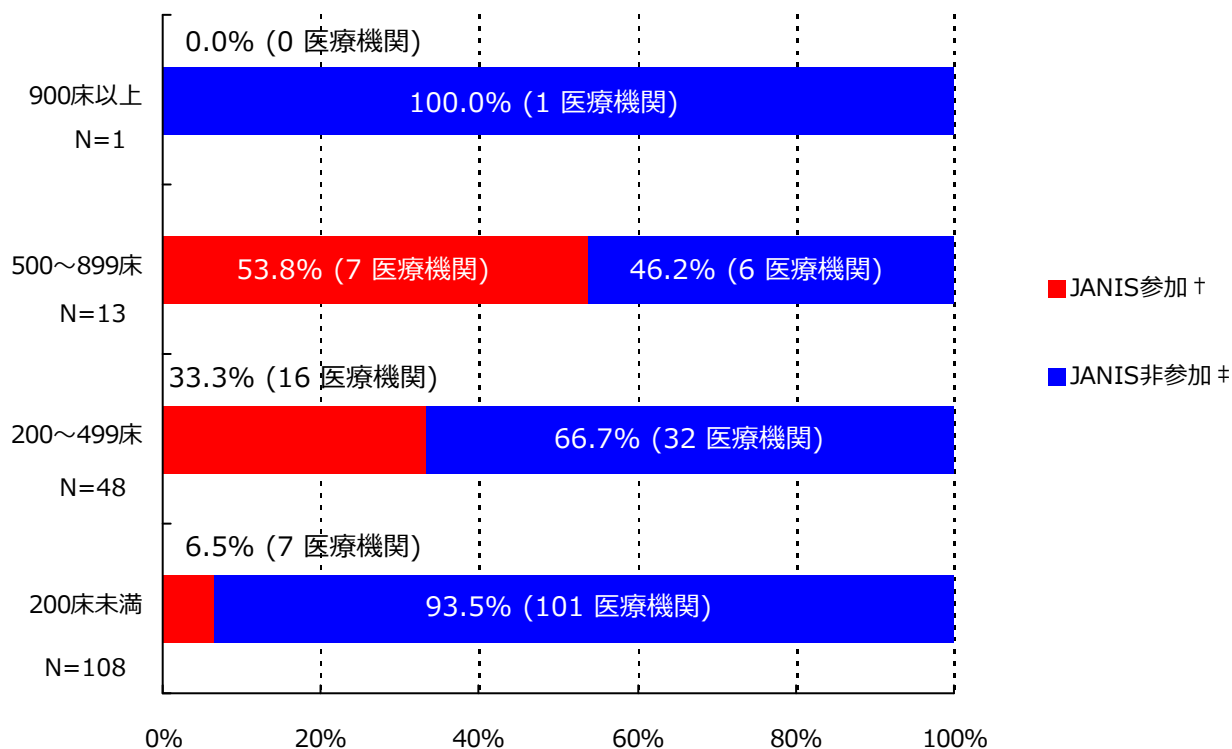
* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠

(静岡県)
公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(30医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2023年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2022年 都道府県別医療機関数¶) - (2023年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2022年 都道府県別医療機関数¶	2023年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	1	0 (0%)
500～899床	13	7 (53.8%)
200～499床	48	16 (33.3%)
200床未満	108	7 (6.5%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	170	30 (17.6%)

¶2022年医療施設（動態）調査を参照した。

(静岡県)

公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	26	155,756	8	424	2.72%	0.00 2.47 14.81 H —————
2022年	31	168,580	6	461	2.73%	0.00 2.36 19.29 H —————
2023年	30	171,763	2	442	2.57%	0.00 2.30 28.88 H —————

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	26	155,756	0	8	0.05%	0.00 0.00 1.73 ———
2022年	31	168,580	0	5	0.03%	0.00 0.00 1.52 ———
2023年	30	171,763	0	4	0.02%	0.00 0.00 0.70 ———

(静岡県)

公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	26	155,756	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.07
2022年	31	168,580	0	1	0.01%	0.00 0.00 1.05
2023年	30	171,763	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.92

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	26	155,756	0	2	0.01%	0.00 0.00 0.37
2022年	31	168,580	0	2	0.01%	0.00 0.00 0.22
2023年	30	171,763	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.92

(静岡県)

公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

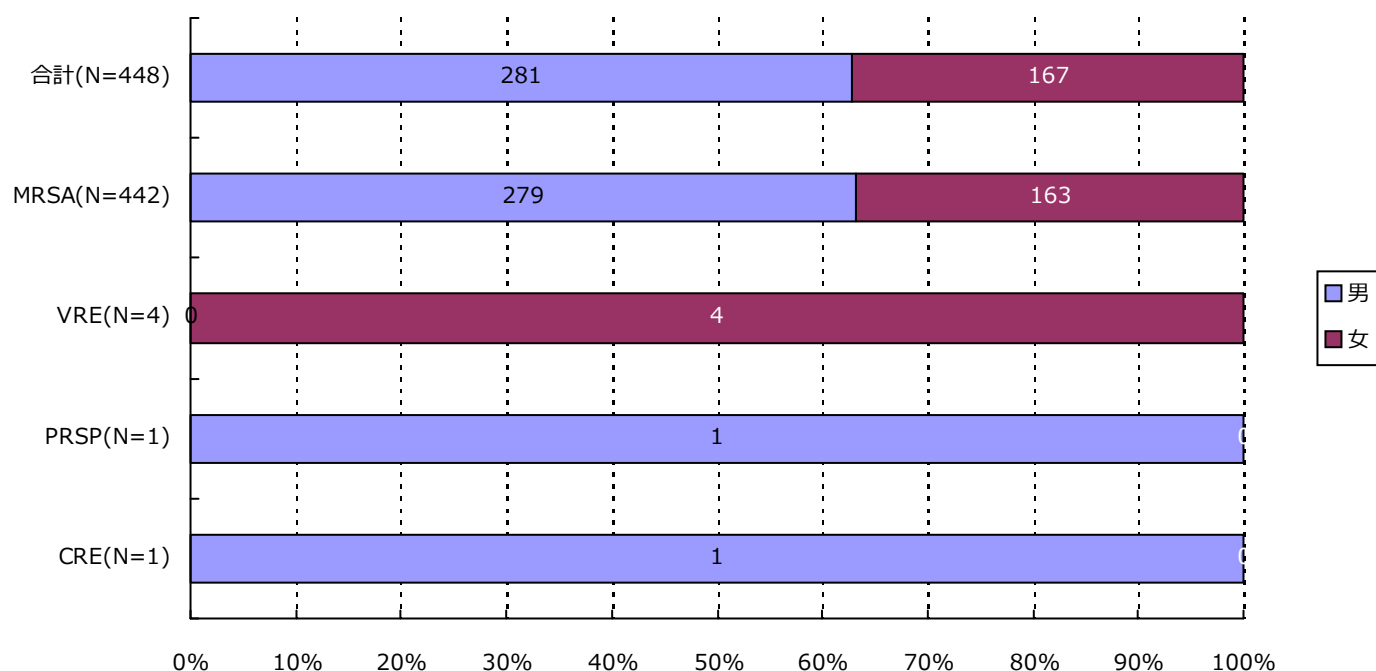
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

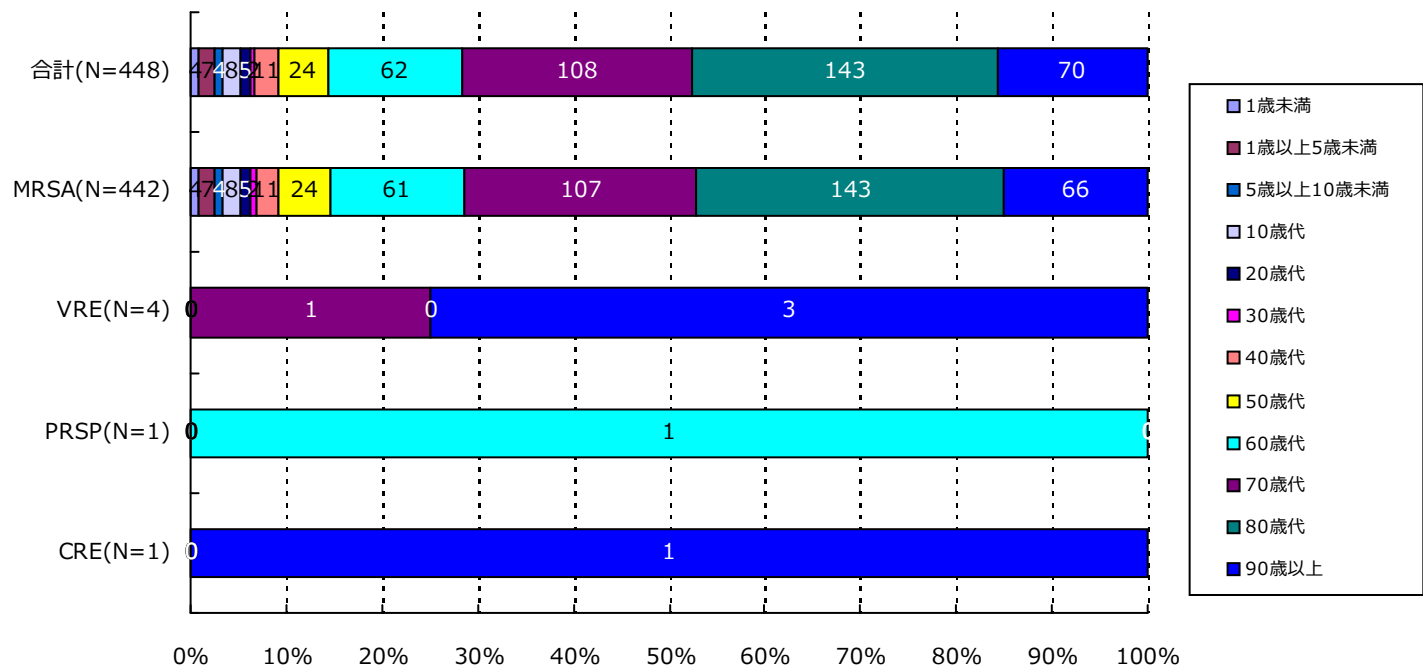
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	281(62.7%)	279(63.1%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
女	167(37.3%)	163(36.9%)	0(-)	4(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	448	442	0	4	1	0	0	1

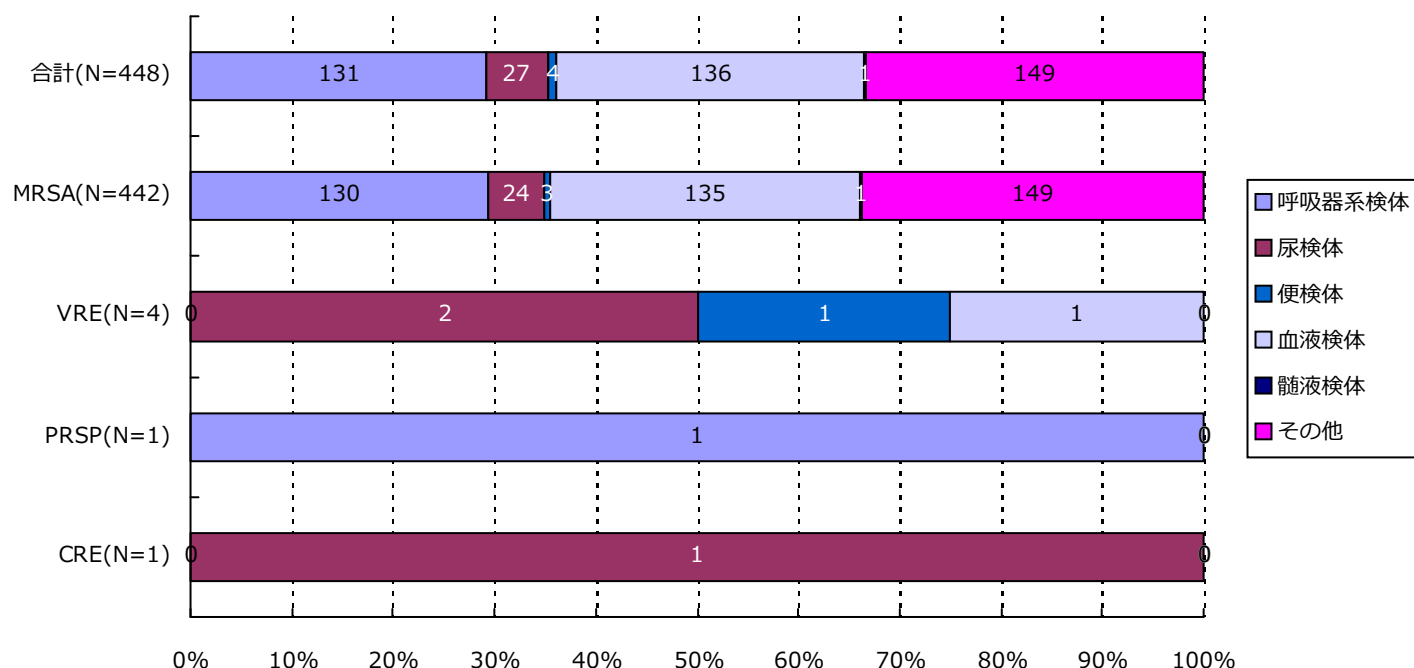


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	4(0.9%)	4(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	7(1.6%)	7(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	4(0.9%)	4(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	8(1.8%)	8(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	5(1.1%)	5(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(0.4%)	2(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	11(2.5%)	11(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	24(5.4%)	24(5.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	62(13.8%)	61(13.8%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	108(24.1%)	107(24.2%)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
80歳代	143(31.9%)	143(32.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	70(15.6%)	66(14.9%)	0(-)	3(75.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
合計	448	442	0	4	1	0	0	1

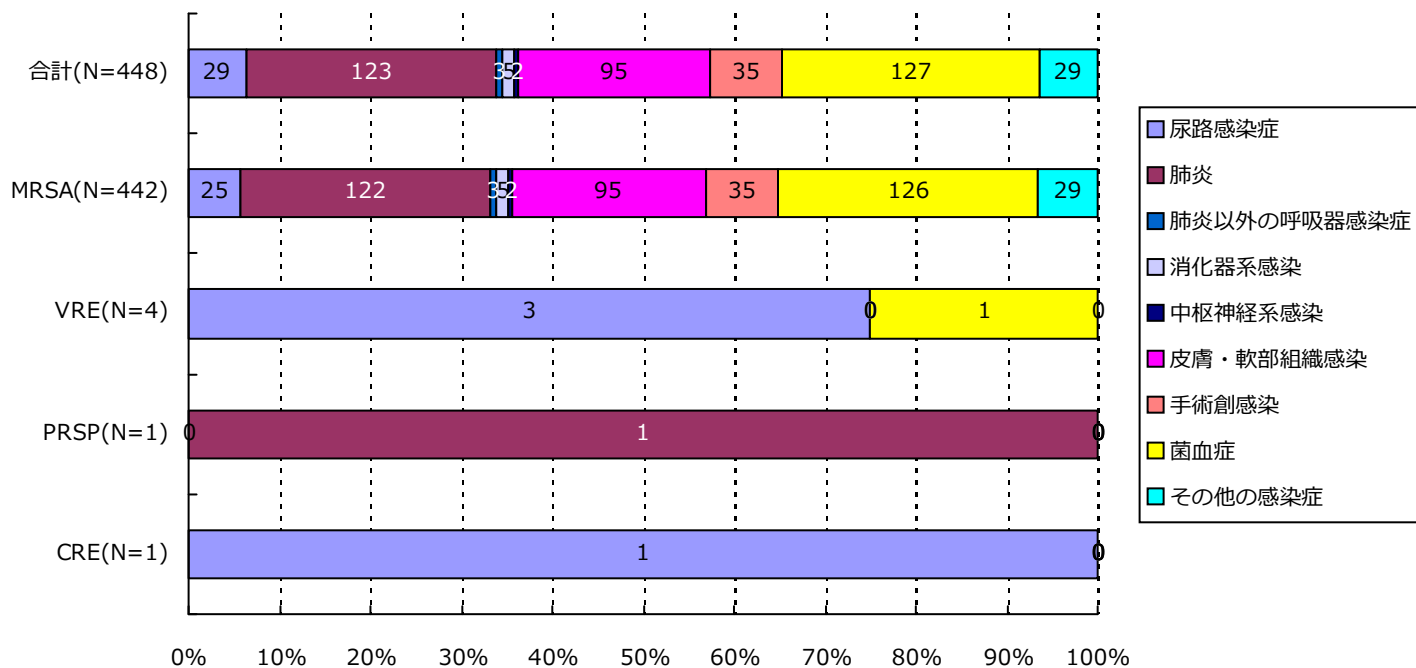
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	131(29.2%)	130(29.4%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	27(6.0%)	24(5.4%)	0(-)	2(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
便検体	4(0.9%)	3(0.7%)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	136(30.4%)	135(30.5%)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
髄液検体	1(0.2%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	149(33.3%)	149(33.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	448	442	0	4	1	0	0	1

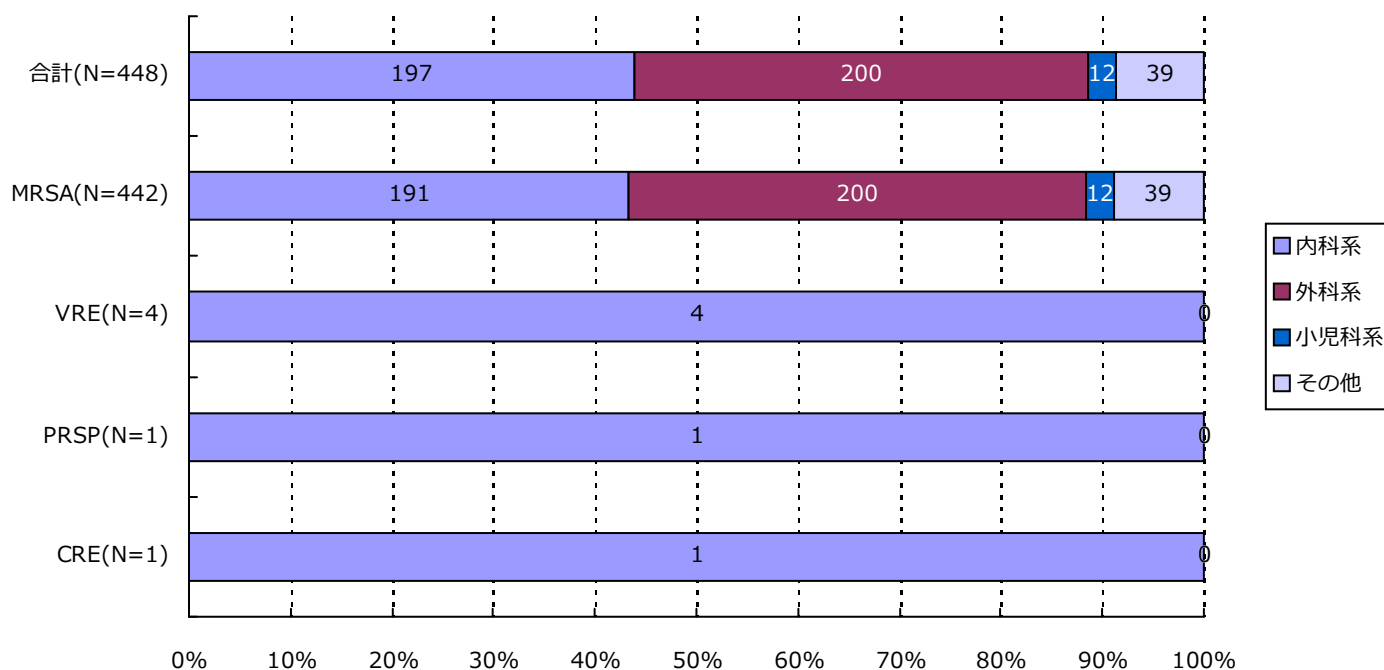
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	29(6.5%)	25(5.7%)	0(-)	3(75.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
肺炎	123(27.5%)	122(27.6%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	3(0.7%)	3(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	5(1.1%)	5(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	2(0.4%)	2(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	95(21.2%)	95(21.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	35(7.8%)	35(7.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	127(28.3%)	126(28.5%)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	29(6.5%)	29(6.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	448	442	0	4	1	0	0	1

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	197(44.0%)	191(43.2%)	0(-)	4(100.0%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
外科系	200(44.6%)	200(45.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
小児科系	12(2.7%)	12(2.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	39(8.7%)	39(8.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	448	442	0	4	1	0	0	1

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	老人内科		眼科
	心療内科		耳鼻咽喉科
	その他		性病科
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
リハビリテーション科		小児科	
麻酔科		新生児科	
その他		新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

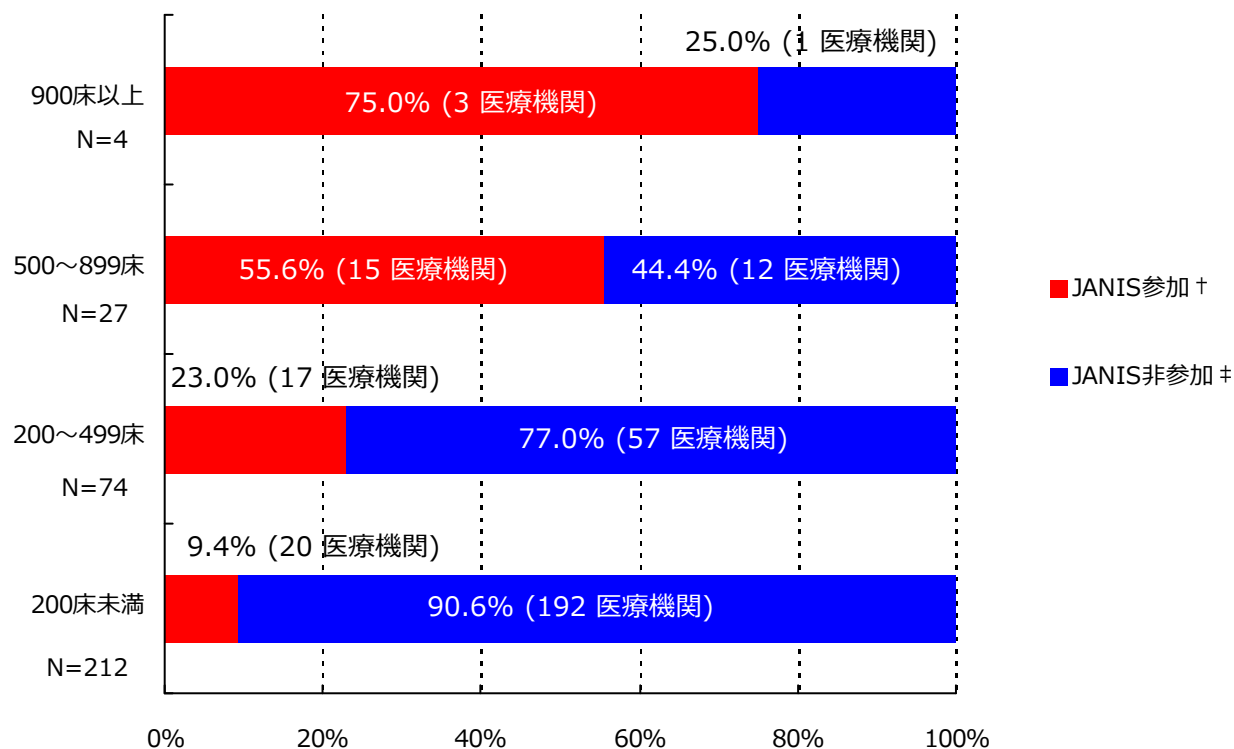
厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm*
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL† かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠

1. データ提出医療機関*数(55医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2023年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2022年 都道府県別医療機関数¶) - (2023年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2022年 都道府県別医療機関数¶	2023年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	4	3 (75%)
500～899床	27	15 (55.6%)
200～499床	74	17 (23%)
200床未満	212	20 (9.4%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	317	55 (17.4%)

¶2022年医療施設（動態）調査を参照した。



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	48	447,377	28	1,070	2.39%	0.00 2.49 20.41
2022年	49	448,524	21	1,081	2.41%	0.00 2.58 31.11
2023年	55	481,008	24	1,080	2.25%	0.00 1.74 55.56

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	当該データなし (患者数0)	-	-	-	-	
2022年	49	448,524	0	3	0.01%	0.00 0.00 0.09
2023年	55	481,008	0	2	0.00%	0.00 0.00 0.20

(愛知県)

公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	48	447,377	0	8	0.02%	0.00 0.00 0.27
2022年	49	448,524	0	8	0.02%	0.00 0.00 0.39
2023年	55	481,008	1	7	0.01%	0.00 0.00 1.10

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	48	447,377	0	51	0.11%	0.00 0.00 0.85
2022年	49	448,524	0	69	0.15%	0.00 0.00 3.23
2023年	55	481,008	0	42	0.09%	0.00 0.00 1.09

(愛知県)

公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

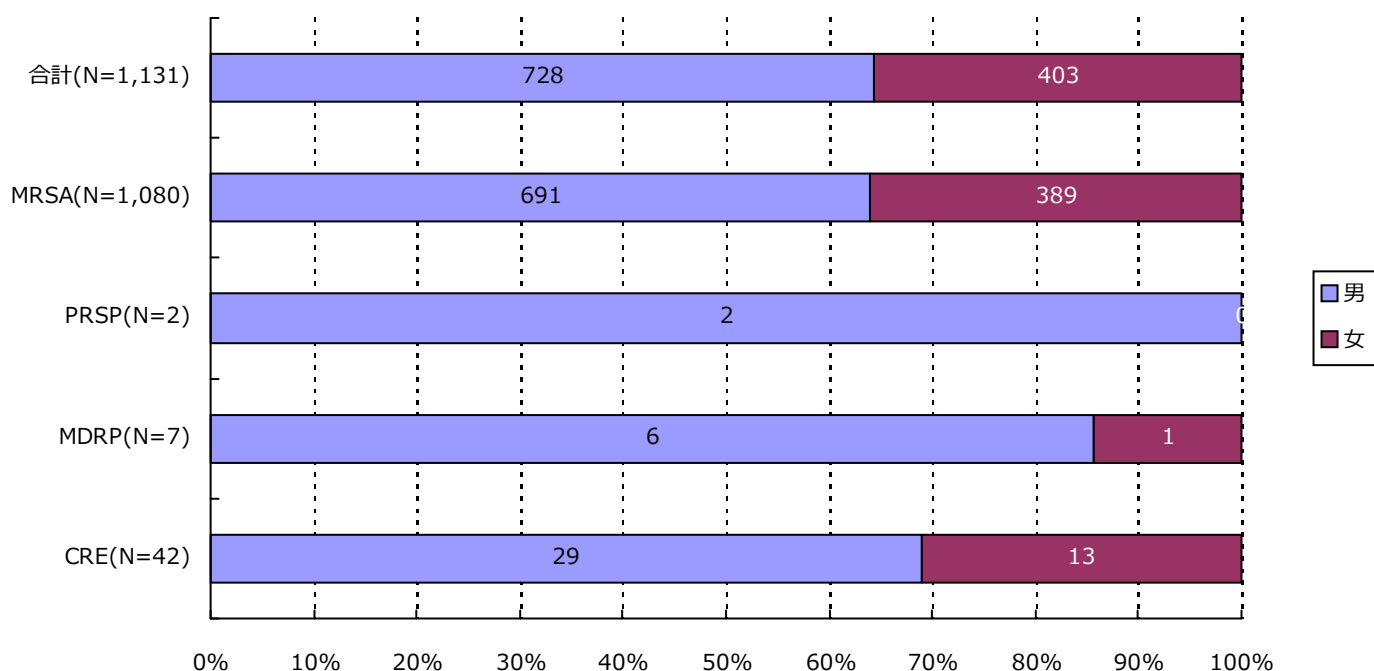
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

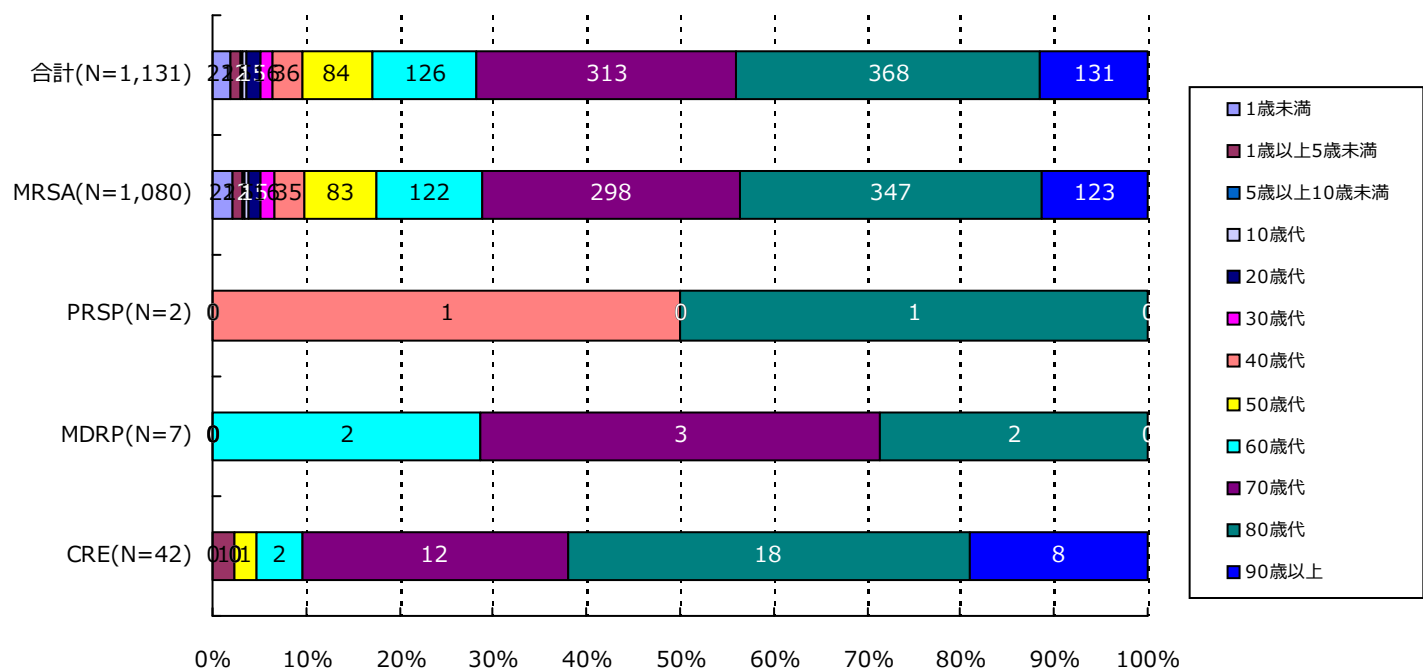
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	728(64.4%)	691(64.0%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	6(85.7%)	0(-)	29(69.0%)
女	403(35.6%)	389(36.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	13(31.0%)
合計	1,131	1,080	0	0	2	7	0	42

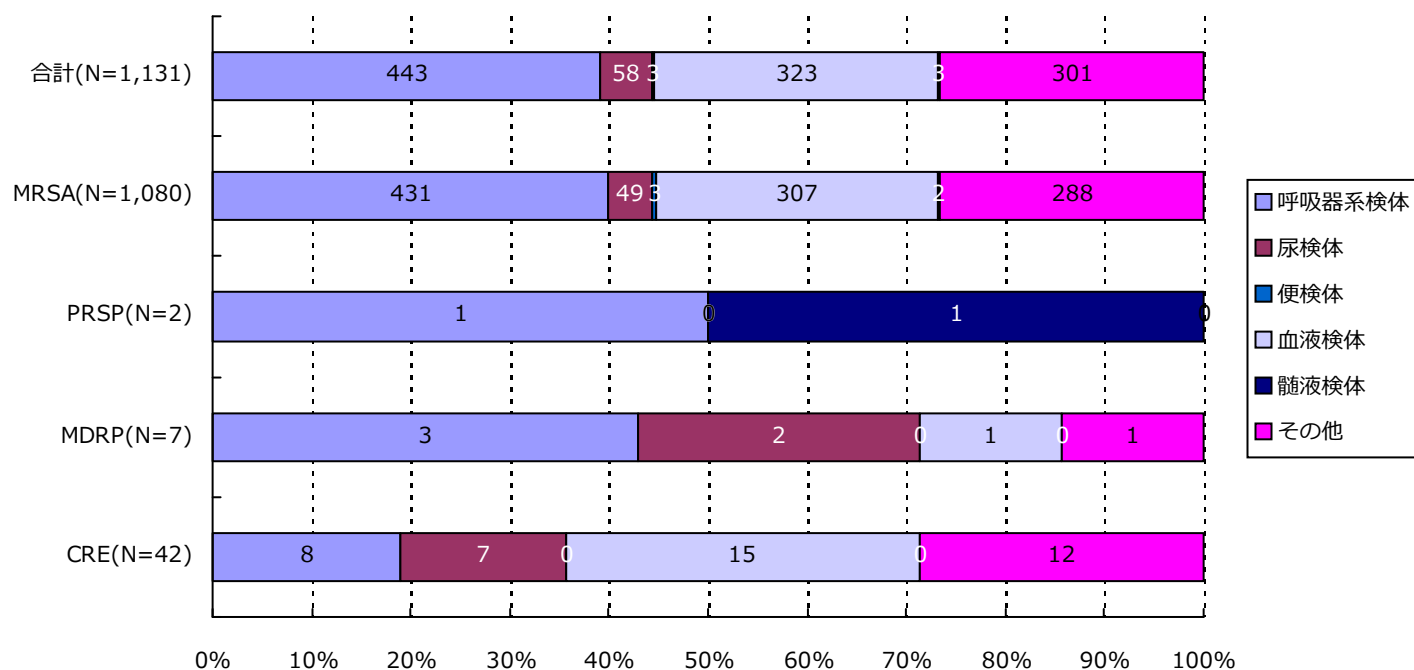


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	22(1.9%)	22(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	13(1.1%)	12(1.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(2.4%)
5歳以上10歳未満	2(0.2%)	2(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	5(0.4%)	5(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	15(1.3%)	15(1.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	16(1.4%)	16(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	36(3.2%)	35(3.2%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	84(7.4%)	83(7.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(2.4%)
60歳代	126(11.1%)	122(11.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(28.6%)	0(-)	2(4.8%)
70歳代	313(27.7%)	298(27.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(42.9%)	0(-)	12(28.6%)
80歳代	368(32.5%)	347(32.1%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	2(28.6%)	0(-)	18(42.9%)
90歳以上	131(11.6%)	123(11.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	8(19.0%)
合計	1,131	1,080	0	0	2	7	0	42

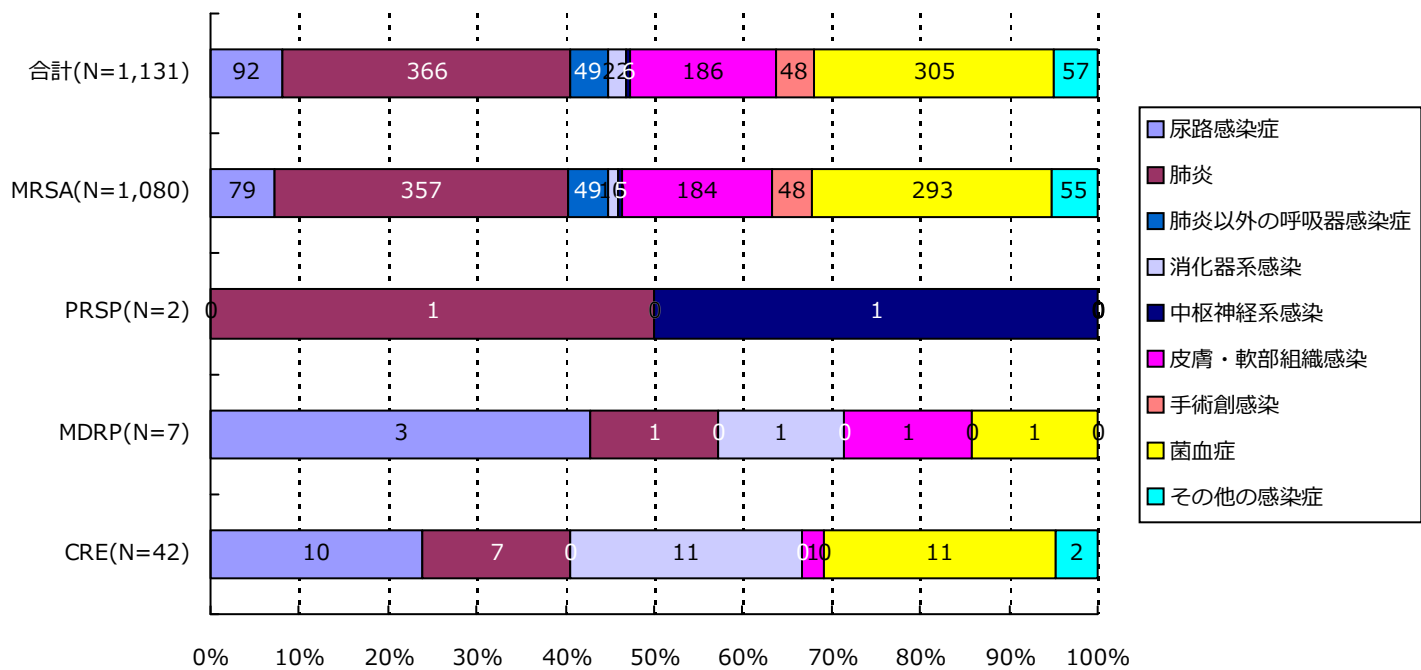
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	443(39.2%)	431(39.9%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	3(42.9%)	0(-)	8(19.0%)
尿検体	58(5.1%)	49(4.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(28.6%)	0(-)	7(16.7%)
便検体	3(0.3%)	3(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	323(28.6%)	307(28.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	15(35.7%)
髄液検体	3(0.3%)	2(0.2%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	301(26.6%)	288(26.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	12(28.6%)
合計	1,131	1,080	0	0	2	7	0	42

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

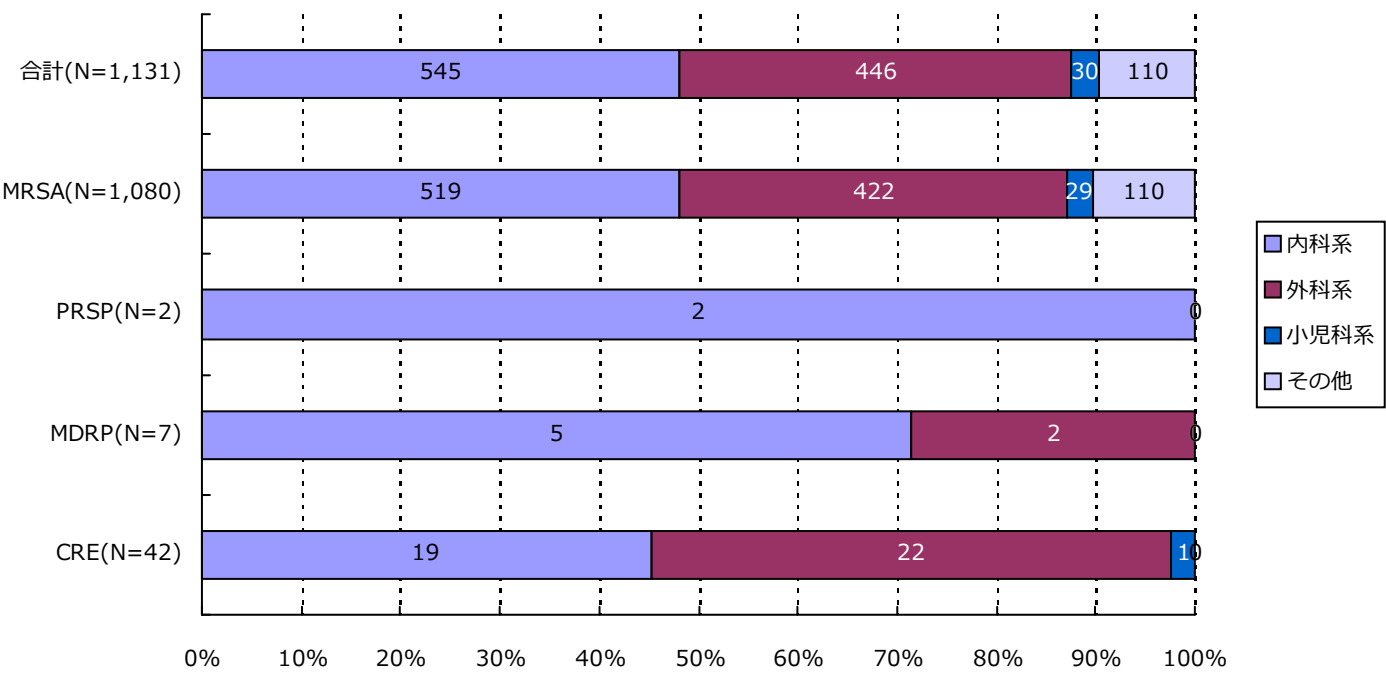
6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	92(8.1%)	79(7.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	3(42.9%)	0(-)	10(23.8%)
肺炎	366(32.4%)	357(33.1%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	1(14.3%)	0(-)	7(16.7%)
肺炎以外	49(4.3%)	49(4.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	22(1.9%)	10(0.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	11(26.2%)
中枢神経系	6(0.5%)	5(0.5%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	186(16.4%)	184(17.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	1(2.4%)
手術創	48(4.2%)	48(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	305(27.0%)	293(27.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(14.3%)	0(-)	11(26.2%)
その他	57(5.0%)	55(5.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(4.8%)
合計	1,131	1,080	0	0	2	7	0	42



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	545(48.2%)	519(48.1%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	5(71.4%)	0(-)	19(45.2%)
外科系	446(39.4%)	422(39.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(28.6%)	0(-)	22(52.4%)
小児科系	30(2.7%)	29(2.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(2.4%)
その他	110(9.7%)	110(10.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	1,131	1,080	0	0	2	7	0	42

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆膵外科
	消化器内科		心血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	老人内科		眼科
	心療内科		耳鼻咽喉科
その他	性病科	小児科系	気管食道科
	神経科		泌尿器科
	精神科		皮膚・泌尿器科
	放射線科		皮膚科
	総合診療部		脳神経外科
	救急部		形成外科
	救急・集中治療部		歯科口腔外科
	集中治療部(ICU)		歯科
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科
	内視鏡科		矯正歯科
	透析科		口腔外科
	理学療法・リハビリテーション科		手術部
	理学療法科		移植・人工臓器科
	リハビリテーション科		小児科
	麻酔科		新生児科
	その他		新生児集中治療部(NICU)
			周産期センター

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm *
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL†かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

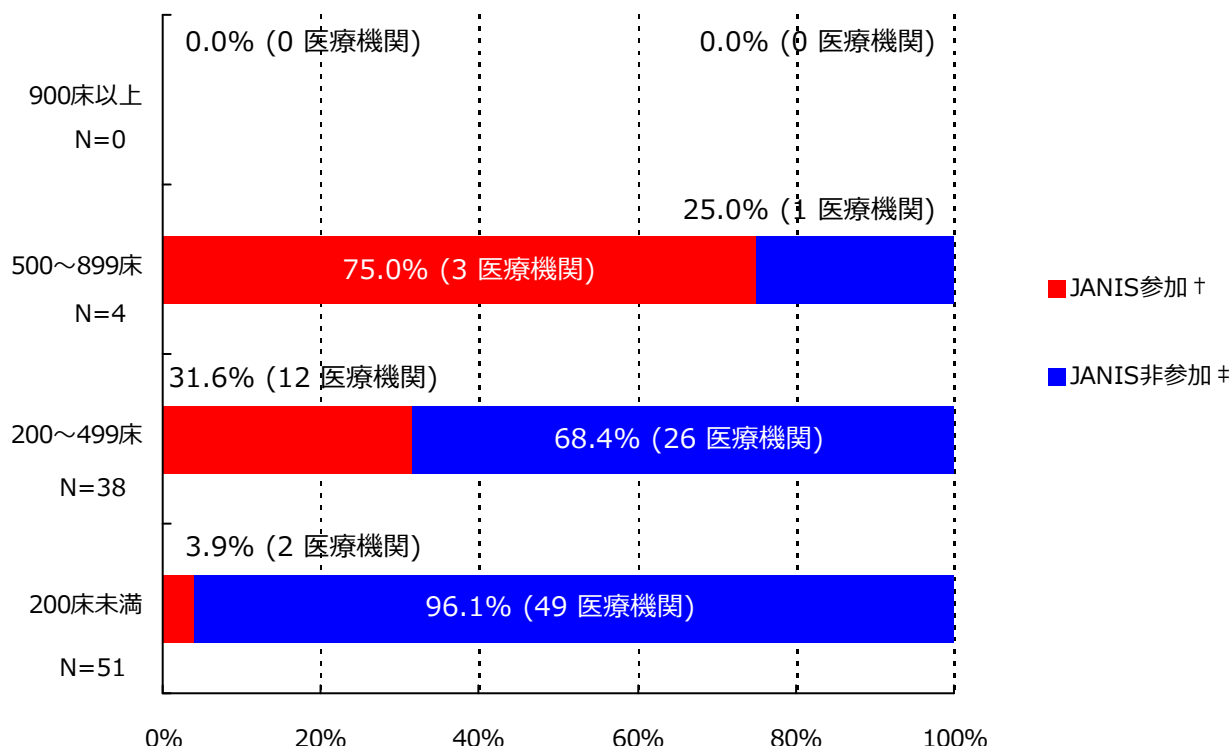
* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠

(三重県)
公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(17医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2023年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2022年 都道府県別医療機関数¶) - (2023年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2022年 都道府県別医療機関数¶	2023年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	4	3 (75%)
200～499床	38	12 (31.6%)
200床未満	51	2 (3.9%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	93	17 (18.3%)

¶2022年医療施設（動態）調査を参照した。

(三重県)

公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	15	109,561	1	315	2.88%	0.00 2.47 5.14
2022年	16	110,952	2	344	3.10%	0.00 2.66 6.56
2023年	17	117,185	6	402	3.43%	0.00 3.34 23.19

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
2021年	15	109,561	0	10	0.09%	0.00 0.00 0.29
2022年	16	110,952	0	7	0.06%	0.00 0.00 0.55
2023年	17	117,185	0	32	0.27%	0.00 0.00 1.08



2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

	集計対象医療機関数	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の 罹患率(%)の分布
2021年	15	109,561	0	3	0.03%	0.00 0.00 0.18
2022年	16	110,952	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.12
2023年	17	117,185	0	5	0.04%	0.00 0.00 0.29

(三重県)

公開情報 2023年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

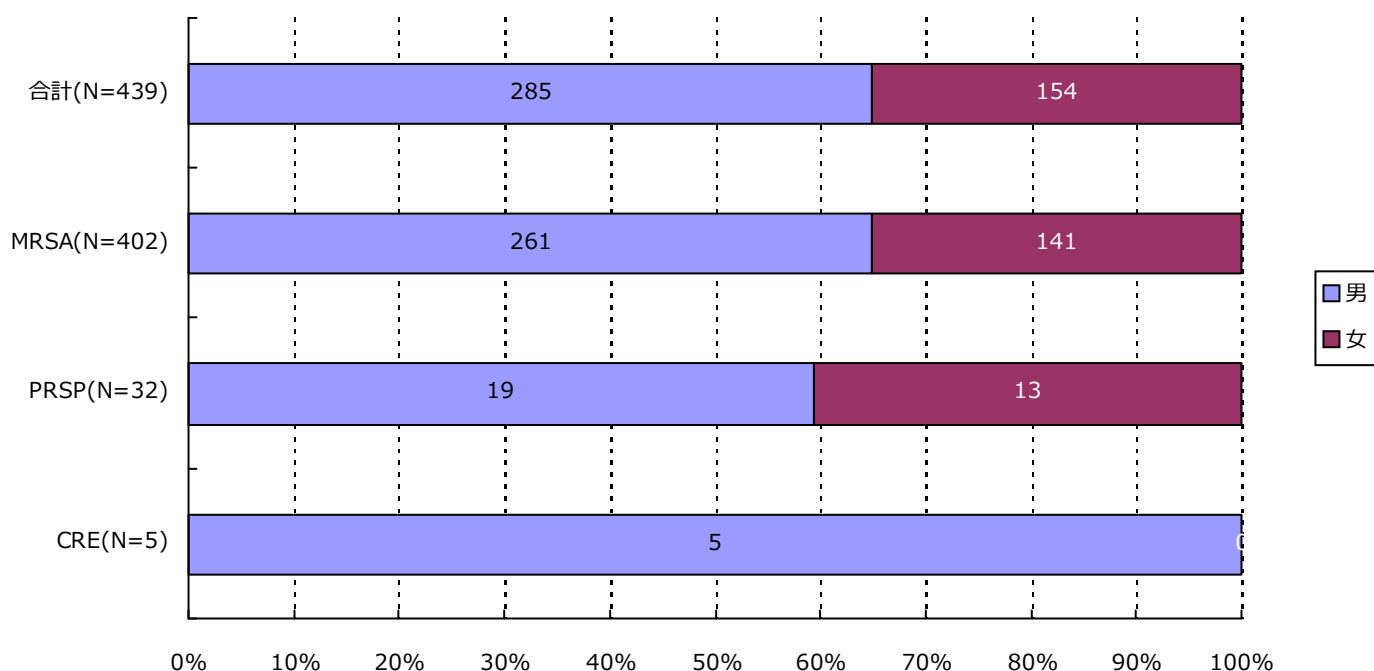
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

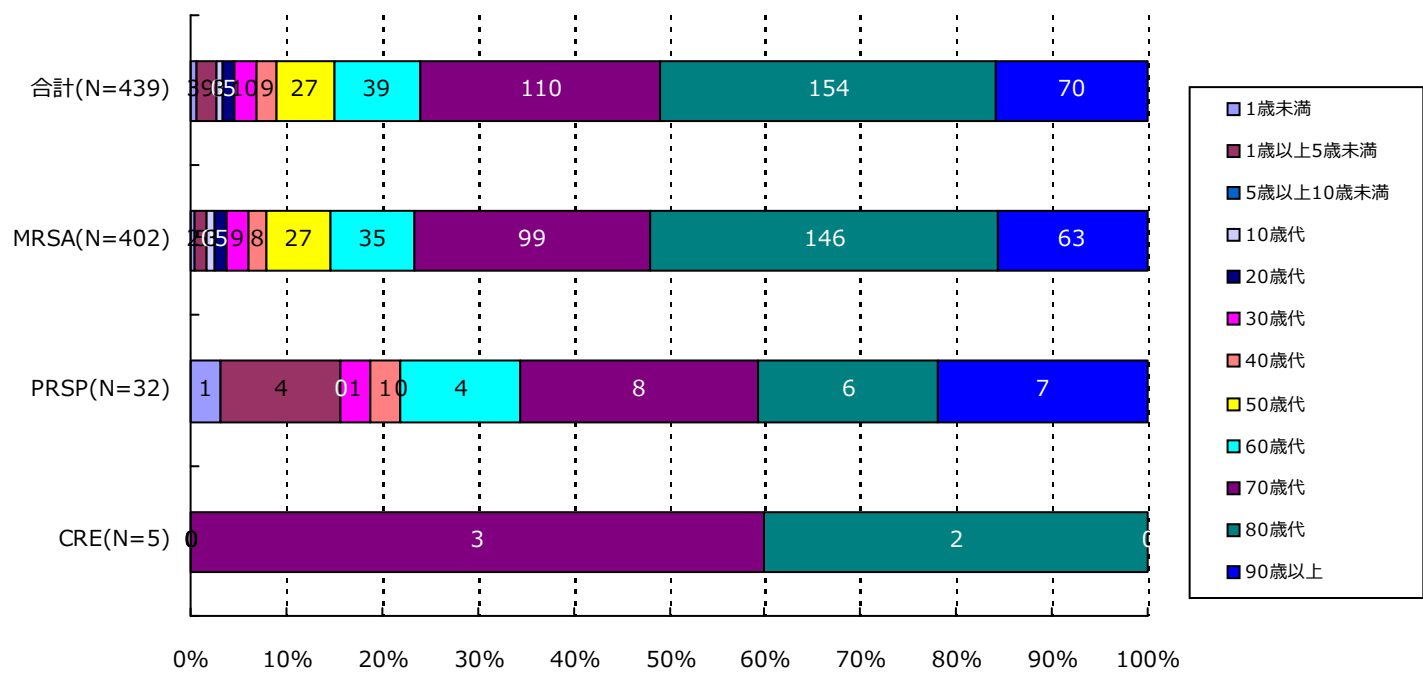
3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	285(64.9%)	261(64.9%)	0(-)	0(-)	19 (59.4%)	0(-)	0(-)	5(100.0%)
女	154(35.1%)	141(35.1%)	0(-)	0(-)	13 (40.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	439	402	0	0	32	0	0	5

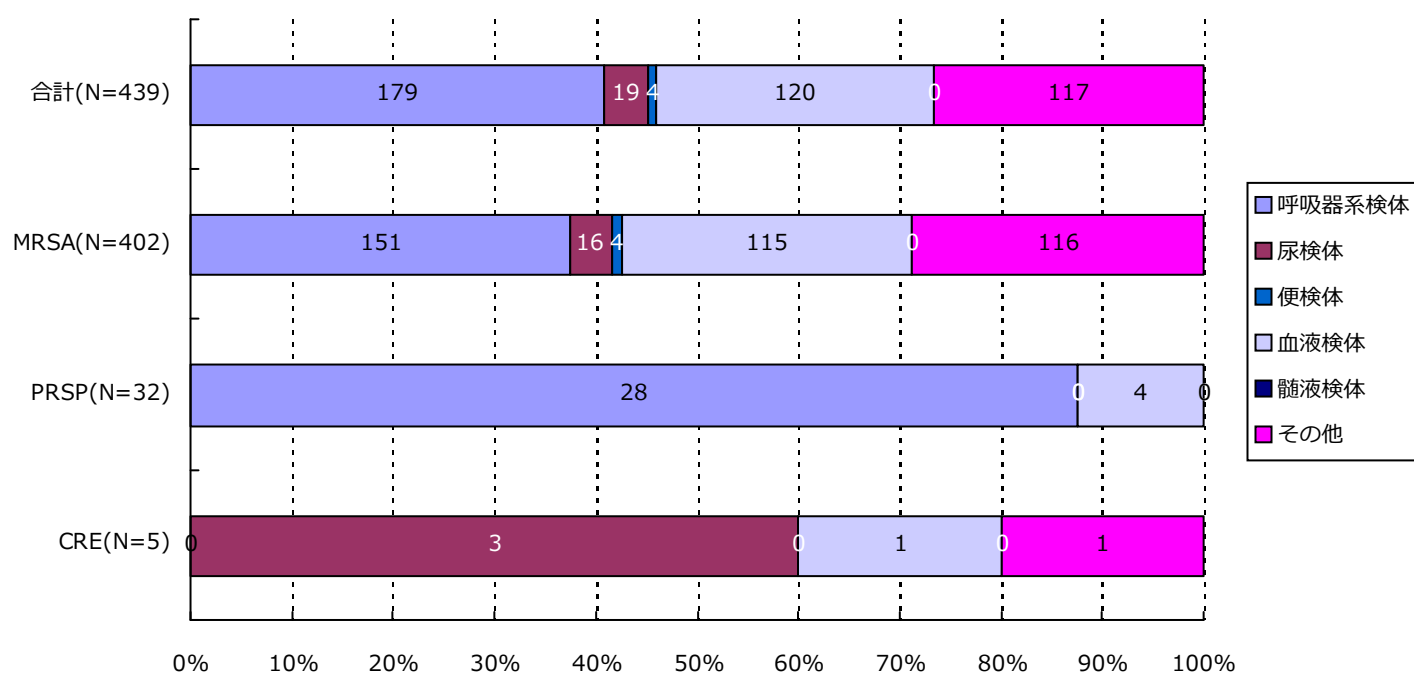


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	3(0.7%)	2(0.5%)	0(-)	0(-)	1(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	9(2.1%)	5(1.2%)	0(-)	0(-)	4(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	3(0.7%)	3(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	5(1.1%)	5(1.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	10(2.3%)	9(2.2%)	0(-)	0(-)	1(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	9(2.1%)	8(2.0%)	0(-)	0(-)	1(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	27(6.2%)	27(6.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	39(8.9%)	35(8.7%)	0(-)	0(-)	4(12.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	110(25.1%)	99(24.6%)	0(-)	0(-)	8(25.0%)	0(-)	0(-)	3(60.0%)
80歳代	154(35.1%)	146(36.3%)	0(-)	0(-)	6(18.8%)	0(-)	0(-)	2(40.0%)
90歳以上	70(15.9%)	63(15.7%)	0(-)	0(-)	7(21.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	439	402	0	0	32	0	0	5

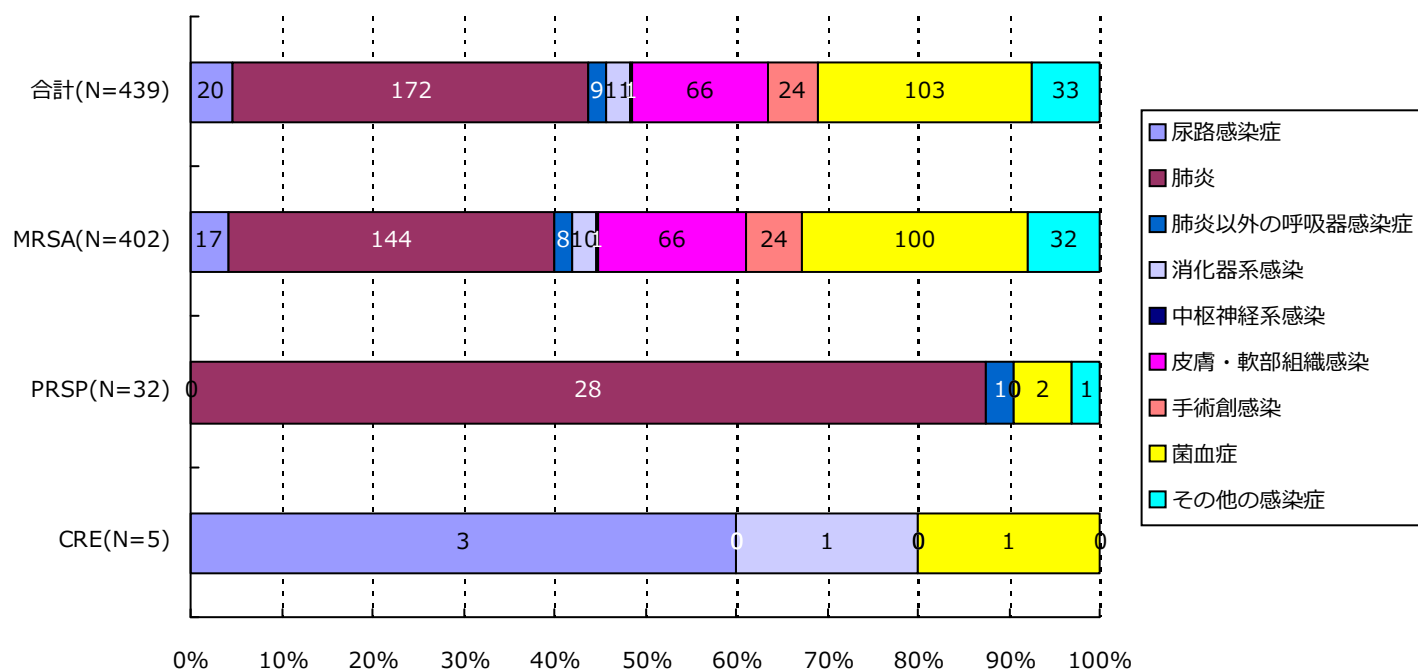
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	179(40.8%)	151(37.6%)	0(-)	0(-)	28(87.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	19(4.3%)	16(4.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(60.0%)
便検体	4(0.9%)	4(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	120(27.3%)	115(28.6%)	0(-)	0(-)	4(12.5%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	117(26.7%)	116(28.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
合計	439	402	0	0	32	0	0	5

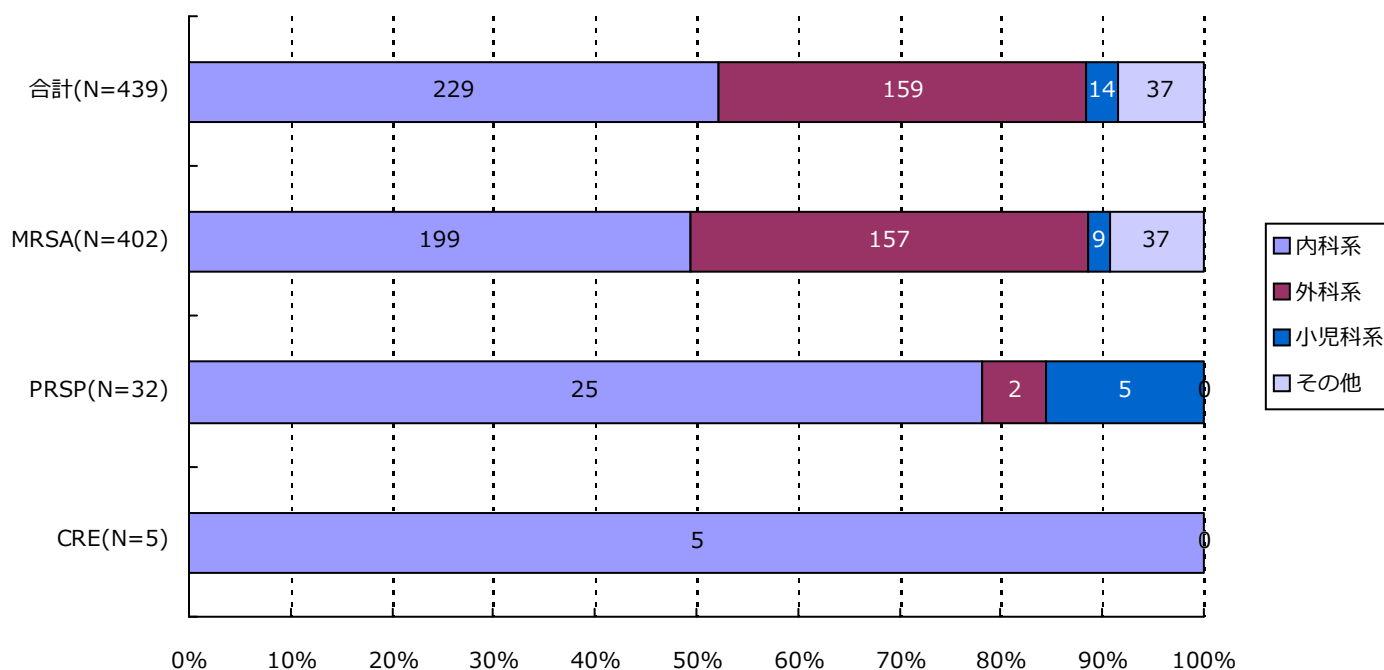
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	20(4.6%)	17(4.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(60.0%)
肺炎	172(39.2%)	144(35.8%)	0(-)	0(-)	28(87.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	9(2.1%)	8(2.0%)	0(-)	0(-)	1(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	11(2.5%)	10(2.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
中枢神経系	1(0.2%)	1(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	66(15.0%)	66(16.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	24(5.5%)	24(6.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	103(23.5%)	100(24.9%)	0(-)	0(-)	2(6.3%)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
その他	33(7.5%)	32(8.0%)	0(-)	0(-)	1(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	439	402	0	0	32	0	0	5

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	229(52.2%)	199(49.5%)	0(-)	0(-)	25(78.1%)	0(-)	0(-)	5(100.0%)
外科系	159(36.2%)	157(39.1%)	0(-)	0(-)	2(6.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
小児科系	14(3.2%)	9(2.2%)	0(-)	0(-)	5(15.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	37(8.4%)	37(9.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	439	402	0	0	32	0	0	5

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.3)

菌名	概要	菌名コード	微量液体希釈法の基準	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC または CFX が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 μ g/mL* または CFX $\geq$ 8 μ g/mL*	MPIPC $\leq$ 10mm† CFX $\leq$ 21mm*
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 μ g/mL*	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性† ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp.は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 μ g/mL†	VCM $\leq$ 14mm *
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性†、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 μ g/mL†	MPIPC $\leq$ 19mm†
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性†、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† NFLX $\geq$ 16 μ g/mL* OFLX・LVFX・LFLX $\geq$ 8mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm* NFLX・OFLX $\leq$ 12mm* LVFX $\leq$ 13mm* LFLX $\leq$ 18mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性† またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 μ g/mL† AMK $\geq$ 32 μ g/mL† LVFX $\geq$ 8 μ g/mL* CPFX $\geq$ 4 μ g/mL*†	IPM・MEPM $\leq$ 13mm† AMK $\leq$ 14mm† LVFX $\leq$ 13mm* CPFX $\leq$ 15mm*†
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌目細菌 ・ MEPM が耐性† ・ IPM が耐性†、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 μ g/mL† IPM $\geq$ 2 μ g/mL†かつ CMZ $\geq$ 64 μ g/mL*†	MEPM $\leq$ 22mm† IPM $\leq$ 22mm† かつ CMZ $\leq$ 12mm*†

* S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

† 感染症発生動向調査の基準に準拠